

和泊中学校校舎改修工事

図面リスト

建 築 図 面	
図面番号	種 別
A-00	表紙、図面リスト
-01	建築改修工事特記仕様書（その1）
-02	建築改修工事特記仕様書（その2）
-03	建築改修工事特記仕様書（その3）
-04	建築改修工事特記仕様書（その4）
-05	建築改修工事特記仕様書（その5）
-06	付近見取図・配置図・設計概要
-07	外部仕上表・参考数量表
-08	既存1階平面図
-09	既存2階平面図
-10	既存屋根伏図
-11	改修後1階平面図
-12	改修後2階平面図
-13	改修後屋根伏図
-14	既存外部天井伏図
-15	改修後外部天井伏図
-16	既存立面図1
-17	既存立面図2
-18	改修後立面図1
-19	改修後立面図2
-20	既存矩計図
-21	改修後矩計図
-22	外部建具配置図1階
-23	外部建具配置図2階
-24	外部建具寸法表1
-25	外部建具寸法表2
-26	外壁改修仕様書
-27	外壁等調査図（立面図1）
-28	外壁等調査図（立面図2）
-29	外壁等調査図（揚裏図）

建築改修工事特記仕様書

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下、「改修標準」という。）により、改修標準に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下、「標準」という。）による。

2. 改修標準及び標準のうち必要として特記する事項と、その他必要として特記する事項を特記事項とする。

3. 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。

(3) 特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、改修標準の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(4) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(5) 図印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（以下「グリーン購入法」という）の特定調達品目を示す。グリーン購入法による調達推進品目は「鹿児島県環境物品等調達方針」の環境物品等調達推進品目等一覧表及び別表1（鹿児島県のホームページからダウンロード可能）による。

4. 前払金

契約金額300万円以上の工事においては、契約金額（全体又は年度毎の出来高予定額）の10分の4を超えない範囲内に限り前払金の支払を請求することができる。

5. 中間前払又は部分払の選択

契約金額300万円以上の工事においては、契約に当たり中間前払又は部分払を選択することができる。

6. 中間前払

契約金額（全体又は年度毎の出来高予定額）の10分の2を超えない範囲内に限り7の全ての要件を満たす場合に中間前払金の支払を請求することができる。

7. 中間前払の要件

(1) 工期の2分の1を経過していること。

(2) 工程表により工期の2分の1を経過するまでに実施すべきものとされている当該工事に係る作業が行われていること。

(3) 既に履行した当該工事に係る作業に要する経費が該負金額の2分の1以上の額に相当するものであること。

8. 部分払

※前払金を支払ったものについては工期中3回まで、前払金の支払がされていないものは工期中3回までとする

9. 火災保険

契約締結後速やかに火災保険に加入し、保険期間は工期後21日とする。

10. 県産資材の優先使用

(1) 工事に使用する資材については、県内で産出、生産または製造されたもの（以下「県産資材」という。）の優先使用に努めることとし、さらに、県産資材以外の資材等についても、県内に本店を置く資材業者等から調達するよう努めることとする。

(2) 以下に記載する「指定主要資材」の中で県産資材を使用しない場合は、「県産資材等不使用状況報告書」を監督職員に提出し、承諾を得なければならない。

〔指定主要資材（7品目）〔生コン（レディミクソ）〕コークリート二次製品 石材類 7A7B木材合材 木材 樹木 芝〕

(3) 前項の「県産資材等不使用状況報告書」において、第1項の資材業者等から調達しない場合は、その理由を記載すること。

(4) 工事完成時及び監督職員から指示された場合、「建設資材使用実績報告書」を監督職員に提出すること。

11. 下請工事における管内建設業者の優先活用

(1) 工事の一部を下請に付する場合は（管状部）管内に主たる営業所を有する者を使用するよう努めることとする。

(2) 前項で定めた建設業者を活用しない場合は、施工計画書の提出と併せて「下請工事における管内建設業者等不活用状況報告書」を監督職員に提出すること。

(3) 工事完成時及び監督職員から指示された場合、「下請業者使用実績報告書」を監督職員に提出すること。

12. 配置技術者等の途中交代

(1) 技術者等の途中交代が認められる場合としては、主任技術者又は監理技術者の死亡、偏廃、または退職者等、真にやむを得ない場合のほか、下記に該当する場合である。

① 受注者の責によらない理由により工事中止または工事内容の大幅な変更が発生し、工期が延長された場合。

② 工機製作を含む工事であって、工場から現場へ工事の現場が移行する時点。

③ 大規模な工事で二つの契約工期が多年に及ぶ場合。

(2) 上記(1)のいずれの場合であっても、請負者と発注者が協議し、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。

13. 電子仕様

※本工事は、電子仕様対象工事であり、電子仕様とは、「調査・設計・工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」とをいう。ここでいう電子仕様とは、「鹿児島県電子納品ガイドライン（平成20年3月）」（以下「ガイドライン」という。）に定める基準に基づいて作成した電子データを指す。

※ガイドラインに基づいて作成した電子成果品は電子媒体（CD-ROM）で基本1冊、別表2の計3冊提出する。電子化しない成果品については基本2冊の取扱いとする。電子納品レベル及び成果品の電子化の範囲については、事前協議を行い決定するものとする。

※電子成果品を提出する際は、鹿児島県の公開する電子納品マニュアルによるチェックを行い、エラーが無いことを確認した後、マニュアルの対策を実施して再度提出すること。

14. CAD図面データの貸与について

本工事に関するCAD図面データの貸与を希望する場合は、「CAD図面データ借用に係る誓約書」を市に提出すること。なお貸与したCAD図面データは、本工事の履行に必要な施工図及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。また、当該CAD図面データは、完成図提出時までに、請負者において履行期間期間中に複製又は再配布しているもの全て消去すること。その他、誓約書の記載事項を遵守すること。

15. 暴力団関係者による不当介入を受けた場合の措置

和泊町が発注する建設工事等（以下「町工事等」という。）において、暴力団関係者による不当要求又は工事妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、その旨を速滞なく町（発注者）及び警察に通報すること。町工事等において、暴力団関係者による不当介入を受けたことにより工期に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、町（発注者）と協議を行うこと。

16. ダンプトラック等による過積載等の防止について

(1) 工事用資機材等の積載超過のないようにすること。

(2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。

(3) 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することがないようにすること。

(4) さし物の装填又は物品積載装置の不正改造をしたダンパカーが、工事現場に出入りすることがないようにすること。

(5) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下法という）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。

(6) 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故が発生させたものを排除すること。

(7) (1)から(6)のことにつき、下請契約における受注者を指導すること。

17. 施工体制台帳の作成等について

本工事の受注者は、建設工事の一部を下請けする場合は、施工体制台帳及び添付書類を作成し、工事現場に搬入置くとともに、その写しを監督職員に速滞なく（遅くとも下請工事の着手前までに）提出すること。また、施工体制台帳の記載事項又は添付書類に変更があったときは、その都度、当該変更があった年月日付記して、変更に関する事項について、作成し提出すること。

18. 施工体系図の作成等について

本工事の受注者は、工事を施工するために、建設工事の一部または以下のアからウの業務を下請に付する場合は、施工体系図を作成し、工事の期間中、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆の見やすい場所に掲示するとともに、その写しを監督職員に速滞なく（遅くとも下請工事または業務の着手前までに）提出すること。また、施工体系図の記載事項に変更があったときは、その都度、変更に関する事項について、作成し提出すること。

イ 仮設及び測量・調査等の工事現場で作業を行う業務

ウ 土砂やコンクリート等の運搬のみを行う業務

エ 工事現場の警備（交通誘導を含む）を行う業務

章

項目

特記事項

① 一般共通事項

① 適用基準等

※適用を受ける関係法令等を遵守すること（参考）

○建築工事標準詳細編（国土交通省大臣官房官庁営繕部建築標準 令和4年版）

○建築工事安全施工技術指針（官庁営繕部）

○建設工事公衆災害防止対策要綱（建設工事編）（官庁営繕部）

○建設部産物適正処理推進要綱（平成14年5月30日国交省通知122号等）

○廃棄物の処理及び清掃に関する法律

○資源の有効な利用の促進に関する法律（リサイクル法）

○建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）

○石綿障害予防規則等の一部を改正する省令（令和4年1月13日厚生労働省令第3号）

○大気汚染防止法の一部を改正する法律（令和2年6月6日法律第39号）

② 工事実績情報の登録

※適用する（※工事請負金額 500万円以上（ ）） [1.1.4]

③ 品質計画等

・施工計画書で工法を定める場合の風圧力の計算 [1.2.2]

※風速（V0＝ 46 ）m/s

※地表面粗度区分（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）

適用工種 ・ALCパネル（外壁、屋根）・押出成形セメント板（外壁）・外壁石張（乾式）

・外装材（外断熱工法）・長尺金属鋼板・折板・アルミ筵木

・ガラスブロック・シート防水（機械式）・屋上緑化用システム

4 電気保安技術者

工事現場における電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。

・要

・不要

⑤ 施工条件

改修標準 [1.3.5] 以外の施工条件 ※現場説明書による ・図示 [1.3.5]

⑥ 発生材の処理等

・発注者に引渡しを要するもの（ ） [1.3.12]

引渡し場所 ※構内（ ）

再生資源化を図るもの又は廃棄するもの ○有 ・無

分 類

受入れ施設名

所 在 地

搬出距離 (km)

○リサイクル工場

・リサイクル工場

○建設発生木材

・リサイクル工場

⑦ 建築材料等

本工事に使用する材料等は、設計図面に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の項目を満たすものとし、この証明となる資料又は、外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。

(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること

(2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること

(3) 安定的な供給が可能であること

(4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること

(5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること

(6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること

なお、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。

※工事に使用する材料は、アスベストを含有しないもの（含有率0.1％以下）とする。

本工事の建築物内部に使用する材料等は、設計図面に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の1)～4)を満たすものとする。

1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、保温材、断熱材、断熱材、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。

2) 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。

3) 接着剤は可塑剤（フタル酸ジエーテル及びフタル酸ジエーテルヘキシル等を含有しない揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。

4) 1)の材料をとして作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないが、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

また、設計図面に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次の通りとする。

⑧ 環境への配慮

本工事の建築物内部に使用する材料等は、設計図面に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の1)～4)を満たすものとする。

1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、保温材、断熱材、断熱材、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料を使用する。

2) 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。

3) 接着剤は可塑剤（フタル酸ジエーテル及びフタル酸ジエーテルヘキシル等を含有しない揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。

4) 1)の材料をとして作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないが、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

また、設計図面に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次の通りとする。

⑨ 特別な材料の工法

改修標準及び、標仕に記載されていない特別な材料の工法については、当該製品の指定工法とする。

下記により適用する技能士については、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業するとともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行う。 [1.6.2]

適用工事種別

技能特定の職種

防水改修工事

・アスファルト防水工事作業

・合成ゴム系シート防水工事作業

○装填防水工事作業

○シーリング防水工事作業

○左官 ・建築仮金

○左官 ・タイル張り

○塗装（建築塗装作業）

○樹脂接着材注入施工

建築改修工事

○サッシ施工 ・ガラス施工 ・自動ドア施工

内装改修工事

・プラスチック系床仕上げ工事作業

・ボード仕上げ工事作業

・内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）

・表装（壁装作業）

・左官 ・建築大工 ・タイル張り

塗装改修工事

○塗装（建築塗装作業）

新築改修工事

・鉄筋施工 ・型枠施工 ・とび

ブロック・ALC工事

・ブロック建築 ・ALCパネル施工

石工事

・石材施工（石張り施工）

植栽工事

・造園

雪工事

・農製作

⑩ 化学物質の濃度測定

施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン（学校施設については、パラジクロロベンゼンを加えた6物質）の濃度を測定し、報告すること。測定はバッチ型採取機器により行う。

着工前の測定 ・行う

測定対象室 ・図示 ・

測定箇所数 ・図示 ・

結果が良好でなかった場合には、監督職員と協議し対策を行うこと。

① 一般共通事項（続き）

⑫ 完成図等

完成図 ※作成する（完成図の種類 ※全てでの設計図（ ）） [1.8.2]

完成図の様式等 [表1.8.1]

A3縮小二つ折り製本 ※3部（ ）部

A1二つ折り製本 ※1部（ ）部

完成図のCADデータ CD-R ※3枚（ ）枚

・作成しない

・作成しない

保全に関する資料 ・作成する（提出部数 ※1部（ ）部） [1.8.3]

・作成しない

⑬ 完成写真等

撮影箇所及び方法については、「工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編」による。下記のものを監督職員に提出する。ただし、原稿は撮影業者の保管とする。

区 分

分 類

規 格

部 数

備 考

着工前

※デジタルカメラ

全画：キタビキ

※1部

・

・カメラ

部分：キタビキ

・（ ）部

工事中

※デジタルカメラ

全画：キタビキ

※1部

・

・カメラ

部分：キタビキ

・（ ）部

（検査状況）

・カメラ

部分：キタビキ

※3部

外観4面/棟

内部全状況

完成時

※デジタルカメラ

全画：キタビキ

※3部

外観4面/棟

内部全状況

（出来形時）

・カメラ

部分：キタビキ

・（ ）部

実施監査用

※デジタルカメラ

キタビキ

※2部

外観4面/棟

・

電子データ

○完成時写真

○工事中写真

○着工前写真

・

※100×125以上の原紙を使う場合には、監督職員にあらかじめ様子を提出し確認を受ける。

※電子データは、RGB（フルカラー）、JPE6形式最高画質とし、40-80Mに提出する。

※外壁改修工事の施工状況は、工法毎に各面（東、西、南、北、南階段、屋上階等）2箇所程度とし、完成は各面・工法毎に全箇所撮影する。

※各工法の施工状況（施工中の写真は、同じ番号で工事写真を撮影のこと。）

改修工法の種類

撮影する施工状況

ひび割れ部改修工法

○マーキング ・下地処理 ・注入孔露出し ○金金取付 ○シール

○シンナー取付状況 ○注入状況 ○仕上状況

欠損部改修工法

○マーキング ・はつり ・清掃 ○鉄筋の露出し ○防錆材塗布

○ステンレスピン打 ○ポリマーセメントモルタル充填

○仕上げ厚みは全厚が厚い場合の施工状況

浮き部改修工法

○マーキング ○穴あけ（ドリル使用） ・清掃 ○エポキシ樹脂注入

○ステンレスピン注入 ○エポキシ樹脂注入後の浮き確認 ○表面処理

完成写真の撮影業者 ※監督職員の承諾する撮影者 ・監督職員の承諾する撮影業者

⑭ 設備工事との取合い

設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

⑮ 設計GL

※図示 ○設計GL＝現状GL

⑯ 既存部分等への措置

工事施工に際し、既存部分や汚染又は損傷した場合は監督職員に報告するとともに承認を受けて現状に準じて修繕する。

⑰ 騒音振動の防止

低騒音型、低振動型建設機械指定要領に基づき指定された建設機械を使用する。

適用工事（土、地業、コンクリート、舗装、植栽、取りこわし等）

この工事については部分使用は ・有（図示） ○無

この工事については一部完成は ・有（図示） ○無

⑱ 部分使用

この工事については一部完成は ・有（図示） ○無

⑲ 一部完成

この工事については一部完成は ・有（図示） ○無

⑳ 中間検査

この工事については、中間検査を ・行う ○行わない

行う場合は、工事の進捗率が概ね50%に達した時期又は、躯体工事中（とりこわし工事完了時、配筋又は鉄骨建方完了時）及び内装工事等施工途中を検査の目安とし、工事受注者は検査の希望日を監督職員と協議の上、発注者に申し出ること。

㉑ 白蟻防除工事

この工事については、（公社）日本しろあり対策協会（以下「協会」という）発行「防除施工標準仕様書」（以下「防除」という）による。

この項目に記載の（防 ）内表示番号は、防除の当該項目を示す。

※使用薬剤は、協会認定薬剤のうち、非有機リン系薬剤とする。

※工事施工者は、原則として協会登録施工業者とする。

※土壌処理

処理の適用分 ※行う ○行わない

処理の方法 ※希釈散布法、面状散布法の一つ又はその組み合わせによって行う。 (防 1.3.(1))

・木材処理

処理の適用分 ※行う ・行わない

処理の方法 ※収付け処理法、塗布処理法の一つ又はその組み合わせによって行う。 (防 1.3.(2))

※処理の箇所

・木造の場合

※1.4.(2)①～⑥及び⑧に規定する箇所

・階段、倉庫、小部屋、間仕切り、桁、火打梁などと敷板又は軒材との仕口面

・2階梁、火打梁と梁下の仕口面

・木造以外の場合

※1.4.(2)⑦に規定する箇所

・2以上の階の床面より1m以内にある木部でコンクリート、石、レンガに接する面

※保証書及び期間

白蟻防除工事については、下記事項を記載した5年保証書を提出すること。なお、保証書については元請業者と白蟻防除工事施工業者と連署とする。

(7)工事名称 (8)建物所在地 (9)建物構造・用途・面積 (10)白蟻防除工事の施工面積 (11)防除処理別並びに使用薬剤名、製造者名、施工年月日 (12)登録施工業者会員番号 (13)施行した防除士の氏名及び登録番号・取得年月日・登録年月日 (14)保証期間

※工事施工にあたり、協会発行「しろあり防除施設における安全管理基準」を遵守すること。

製品名（ ）

施工箇所 ※図示による ・（ ）

② 仮設工事

① 足場その他

内部足場 ○脚立、足場等（ ） [2.2.1]

外部足場 ○設置する ・設置しない [2.2.1]

種類

外部足場等

※A種

施工箇所面に特種足場を設ける

・B種

施工箇所面にくさび型足場を設ける

・C種

施工箇所面に標準本足場を設ける

・D種

仮設コンダラを使用する

・E種

移動式足場を使用する

○防護シートによる養生

・防護シートによる養生

材料、搬出材等の運搬方法

・A種 ○B種 ・C種 ・D種 ・E種 [2.2.1] [表 2.2.1]

② 仮設工事（続き）

③ 仮設間仕切り

仮設間仕切り等の種類 [2.3.2] [表2.3.1]

種 別

材 質

仕 上 げ

・A種

・せつこうボード厚9.5両面張り

・G30-4充填厚さ（ ）

・片面塗装

・合板厚9両面張り

・G30-4充填厚さ（ ）

・片面塗装

※B種

・せつこうボード厚9.5片面張り

・合板厚9片面張り

・

・せつこうボード厚9.5（内部面）

・合板厚9（外部面）

・C種

※シート張り

・

・仮設扉

※合板張り木製扉 程度

・

④ 監督職員事務所

○設ける ・設ける（既存建築物の一部を使用する） ・設けない [2.4.1]

面積規模（○10㎡・20㎡・35㎡・65㎡・100㎡・（ ）㎡）程度

仕上りの程度、設置する備品等の種類及び数量は現場説明書による。

構内既存の施設 ・利用できる（※有償 ・無償） ※利用できない

構内既存の施設 ・利用できる（※有償 ・無償） ※利用できない

⑤ 工事用水

⑥ 工事用電力

⑦ 現場表示板

規格 ○国下による ○監督職員の承諾による

材質 ○産産板 ○監督職員の承諾による

和泊町シホ 77-2 150×150程度

工 事 名

発 注 者

設 計 者

監 理 者

施 工 者

工 期 令 和 年 月 日 ～ 令 和 年 月 日

※設置位置は、監督職員との協議による。また取付けは、強風に對し安全な工法とする

③ 仮設工事（続き）

④ 仮設間仕切り

仮設間仕切り等の種類 [2.3.2] [表2.3.1]

種 別

材 質

仕 上 げ

・A種

・せつこうボード厚9.5両面張り

・G30-4充填厚さ（ ）

・片面塗装

・合板厚9両面張り

・G30-4充填厚さ（ ）

・片面塗装

※B種

・せつこうボード厚9.5片面張り

・合板厚9片面張り

・

・せつこうボード厚9.5（内部面）

・合板厚9（外部面）

・C種

※シート張り

・

・仮設扉

※合板張り木製扉 程度

・

④ 監督職員事務所

○設ける ・設ける（既存建築物の一部を使用する） ・設けない [2.4.1]

面積規模（○10㎡・20㎡・35㎡・65㎡・100㎡・（ ）㎡）程度

仕上りの程度、設置する備品等の種類及び数量は現場説明書による。

構内既存の施設 ・利用できる（※有償 ・無償） ※利用できない

構内既存の施設 ・利用できる（※有償 ・無償） ※利用できない

⑤ 工事用水

⑥ 工事用電力

⑦ 現場表示板

規格 ○国下による ○監督職員の承諾による

材質 ○産産板 ○監督職員の承諾による

和泊町シホ 77-2 150×150程度

工 事 名

発 注 者

設 計 者

監 理 者

施 工 者

工 期 令 和 年 月 日 ～ 令 和 年 月 日

※設置位置は、監督職員との協議による。また取付けは、強風に對し安全な工法とする

③ 仮設工事（続き）

④ 仮設間仕切り

仮設間仕切り等の種類 [2.3.2] [表2.3.1]

種 別

材 質

仕 上 げ

・A種

・せつこうボード厚9.5両面張り

・G30-4充填厚さ（ ）

・片面塗装

・合板厚9両面張り

・G30-4充填厚さ（ ）

・片面塗装

※B種

・せつこうボード厚9.5片面張り

・合板厚9片面張り

・

・せつこうボード厚9.5（内部面）

・合板厚9（外部面）

・C種

※シート張り

・

・仮設扉

※合板張り木製扉 程度

・

④ 監督職員事務所

○設ける ・設ける（既存建築物の一部を使用する） ・設けない [2.4.1]

面積規模（○10㎡・20㎡・35㎡・65㎡・100㎡・（ ）㎡）程度

仕上りの程度、設置する備品等の種類及び数量は現場説明書による。

構内既存の施設 ・利用できる（※有償 ・無償） ※利用できない

構内既存の施設 ・利用できる（※有償 ・無償） ※利用できない

⑤ 工事用水

⑥ 工事用電力

⑦ 現場表示板

規格 ○国下による ○監督職員の承諾による

材質 ○産産板 ○監督職員の承諾による

和泊町シホ 77-2 150×150程度

工 事 名

発 注 者

設 計 者

監 理 者

施 工 者

工 期 令 和 年 月 日 ～ 令 和 年 月 日

※設置位置は、監督職員との協議による。また取付けは、強風に對し安全な工法とする

③ 仮設工事（続き）

④ 仮設間仕切り

仮設間仕切り等の種類 [2.3.2] [表2.3.1]

種 別

材 質

仕 上 げ

・A種

・せつこうボード厚9.5両面張り

・G30-4充填厚さ（ ）

・片面塗装

・合板厚9両面張り

・G30-4充填厚さ（ ）

・片面塗装

※B種

・せつこうボード厚9.5片面張り

・合板厚9片面張り

・

・せつこうボード厚9.5（内部面）

・合板厚9（外部面）

・C種

※シート張り

・

・仮設扉

※合板張り木製扉 程度

・

④ 監督職員事務所

○設ける ・設ける（既存建築物の一部を使用する） ・設けない [2.4.1]

面積規模（○10㎡・20㎡・35㎡・65㎡・100㎡・（ ）㎡）程度

仕上りの程度、設置する備品等の種類及び数量は現場説明書による。

構内既存の施設 ・利用できる（※有償 ・無償） ※利用できない

構内既存の施設 ・利用できる（※有償 ・無償） ※利用できない

⑤ 工事用水

⑥ 工事用電力

⑦ 現場表示板

規格 ○国下による ○監督職員の承諾による

材質 ○産産板 ○監督職員の承諾による

和泊町シホ 77-2 150×150程度

工 事 名

発 注 者

設 計 者

監 理 者

施 工 者

工 期 令 和 年 月 日 ～ 令 和 年 月 日

※設置位置は、監督職員との協議による。また取付けは、強風に對し安全な工法とする

③ 仮設工事（続き）

④ 仮設間仕切り

仮設間仕切り等の種類 [2.3.2] [表2.3.1]

種 別

材 質

仕 上 げ

・A種

・せつこうボード厚9.5両面張り

・G30-4充填厚さ（ ）

・片面塗装

・合板厚9両面張り

・G30-4充填厚さ（ ）

・片面塗装

※B種

・せつこうボード厚9.5片面張り

・合板厚9片面張り

・

・せつこうボード厚9.5（内部面）

・合板厚9（外部面）

・C種

※シート張り

・

・仮設扉

※合板張り木製扉 程度

・

④ 監督職員事務所

○設ける ・設ける（既存建築物の一部を使用する） ・設けない [2.4.1]

面積規模（○10㎡・20㎡・35㎡・65㎡・100㎡・（ ）㎡）程度

仕上りの程度、設置する備品等の種類及び数量は現場説明書による。

構内既存の施設 ・利用できる（※有償 ・無償） ※利用できない

構内既存の施設 ・利用できる（※有償 ・無償） ※利用できない

⑤ 工事用水

⑥ 工事用電力

⑦ 現場表示板

規格 ○国下による ○監督職員の承諾による

材質 ○産産板 ○監督職員の承諾による

和泊町シホ 77-2 150×150程度

工 事 名

発 注 者

設 計 者

監 理 者

施 工 者

工 期 令 和 年 月 日 ～ 令 和 年 月 日

※設置位置は、監督職員との協議による。また取付けは、強風に對し安全な工法とする

③ 仮設工事（続き）

④ 仮設間仕切り

仮設間仕切り等の種類 [2.3.2] [表2.3.1]

種 別

材 質

仕 上 げ

・A種

・せつこうボード厚9.5両面張り

・G30-4充填厚さ（ ）

・片面塗装

・合板厚9両面張り

・G30-4充填厚さ（ ）

・片面塗装

※B種

・せつこうボード厚9.5片面張り

・合板厚9片面張り

・

・せつこうボード厚9.5（内部面）

・合板厚9（外部面）

・C種

※シート張り

・

・仮設扉

※合板張り木製扉 程度

・

④ 監督職員事務所

○設ける ・設ける（既存建築物の一部を使用する） ・設けない [2.4.1]

面積規模（○10㎡・20㎡・35㎡・65㎡・100㎡・（ ）㎡）程度

仕上りの程度、設置する備品等の種類及び数量は現場説明書による。

構内既存の施設 ・利用できる（※有償 ・無償） ※利用できない

構内既存の施設 ・利用できる（※有償 ・無償） ※利用できない

⑤ 工事用水

⑥ 工事用電力

⑦ 現場表示板

規格 ○国下による ○監督職員の承諾による

材質 ○産産板 ○監督職員の承諾による

和泊町シホ 77-2 150×150程度

工 事 名

発 注 者

設 計 者

監 理 者

施 工 者

工 期 令 和 年 月 日 ～ 令 和 年 月 日

※設置位置は、監督職員との協議による。また取付けは、強風に對し安全な工法とする

③ 仮設工事（続き）

④ 仮設間仕切り

仮設間仕切り等の種類 [2.3.2] [表2.3.1]

種 別

材 質

仕 上 げ

・A種

・せつこうボード厚9.5両面張り

・G30-4充填厚さ（ ）

・片面塗装

・合板厚9両面張り

・G30-4充填厚さ（ ）

・片面塗装

※B種

・せつこうボード厚9.5片面張り

・合板厚9片面張り

・

・せつこうボード厚9.5（内部面）

・合板厚9（外部面）

・C種

※シート張り

・

・仮設扉

※合板張り木製扉 程度

・

④ 監督職員事務所

○設ける ・設ける（既存建築物の一部を使用する） ・設けない [2.4.1]

面積規模（○10㎡・20㎡・35㎡・65㎡・100㎡・（ ）㎡）程度

仕上りの程度、設置する備品等の種類及び数量は現場説明書による。

構内既存の施設 ・利用できる（※有償 ・無償） ※利用できない

構内既存の施設 ・利用できる（※有償 ・無償） ※利用できない

⑤ 工事用水

⑥ 工事用電力

⑦ 現場表示板

規格 ○国下による ○監督職員の承諾による

材質 ○産産板 ○監督職員の承諾による

和泊町シホ 77-2 150×150程度

工 事 名

発 注 者

設 計 者

監 理 者

施 工 者

工 期 令 和 年 月 日 ～ 令 和 年 月 日

※設置位置は、監督職員との協議による。また取付けは、強風に對し安全な工法とする

③ 仮設工事（続き）

④ 仮設間仕切り

仮設間仕切り等の種類 [2.3.2] [表2.3.1]

種 別

材 質

仕 上 げ

・A種

・せつこうボード厚9.5両面張り

・G30-4充填厚さ（ ）

・片面塗装

・合板厚9両面張り

・G30-4充填厚さ（ ）

・片面塗装

※B種

・せつこうボード厚9.5片面張り

・合板厚9片面張り

・

・せつこうボード厚9.5（内部面）

・合板厚9（外部面）

・C種

※シート張り

・

・仮設扉

※合板張り木製扉 程度

・

④ 監督職員事務所

○設ける ・設ける（既存建築物の一部を使用する） ・設けない [2.4.1]

面積規模（○10㎡・20㎡・35㎡・65㎡・100㎡・（ ）㎡）程度

仕上りの程度、設置する備品等の種類及び数量は現場説明書による。

構内既存の施設 ・利用できる（※有償 ・無償） ※利用できない

構内既存の施設 ・利用できる（※有償 ・無償） ※利用できない

⑤ 工事用水

⑥ 工事用電力

⑦ 現場表示板

規格 ○国下による ○監督職員の承諾による

材質 ○産産板 ○監督職員の承諾による

和泊町シホ 77-2 150×150程度

工 事 名

発 注 者

設 計 者

監 理 者

施 工 者

工 期 令 和 年 月 日 ～ 令 和 年 月 日

※設置位置は、監督職員との協議による。また取付けは、強風に對し安全な工法とする

③ 仮設工事（続き）

④ 仮設間仕切り

仮設間仕切り等の種類 [2.3.2] [表2.3.1]

種 別

材 質

仕 上 げ

・A種

・せつこうボード厚9.5両面張り

・G30-4充填厚さ（ ）

・片面塗装

・合板厚9両面張り

・G30-4充填厚さ（ ）

・片面塗装

※B種

・せつこうボード厚9.5片面張り

・合板厚9片面張り

・

・せつこうボード厚9.5（内部面）

・合板厚9（外部面）

・C種

※シート張り

・

・仮設扉

※合板張り木製扉 程度

・

④ 監督職員事務所

○設ける ・設ける（既存建築物の一部を使用する） ・設けない [2.4.1]

面積規模（○10㎡・20㎡・35㎡・65㎡・100㎡・（ ）㎡）程度

仕上りの程度、設置する備品等の種類

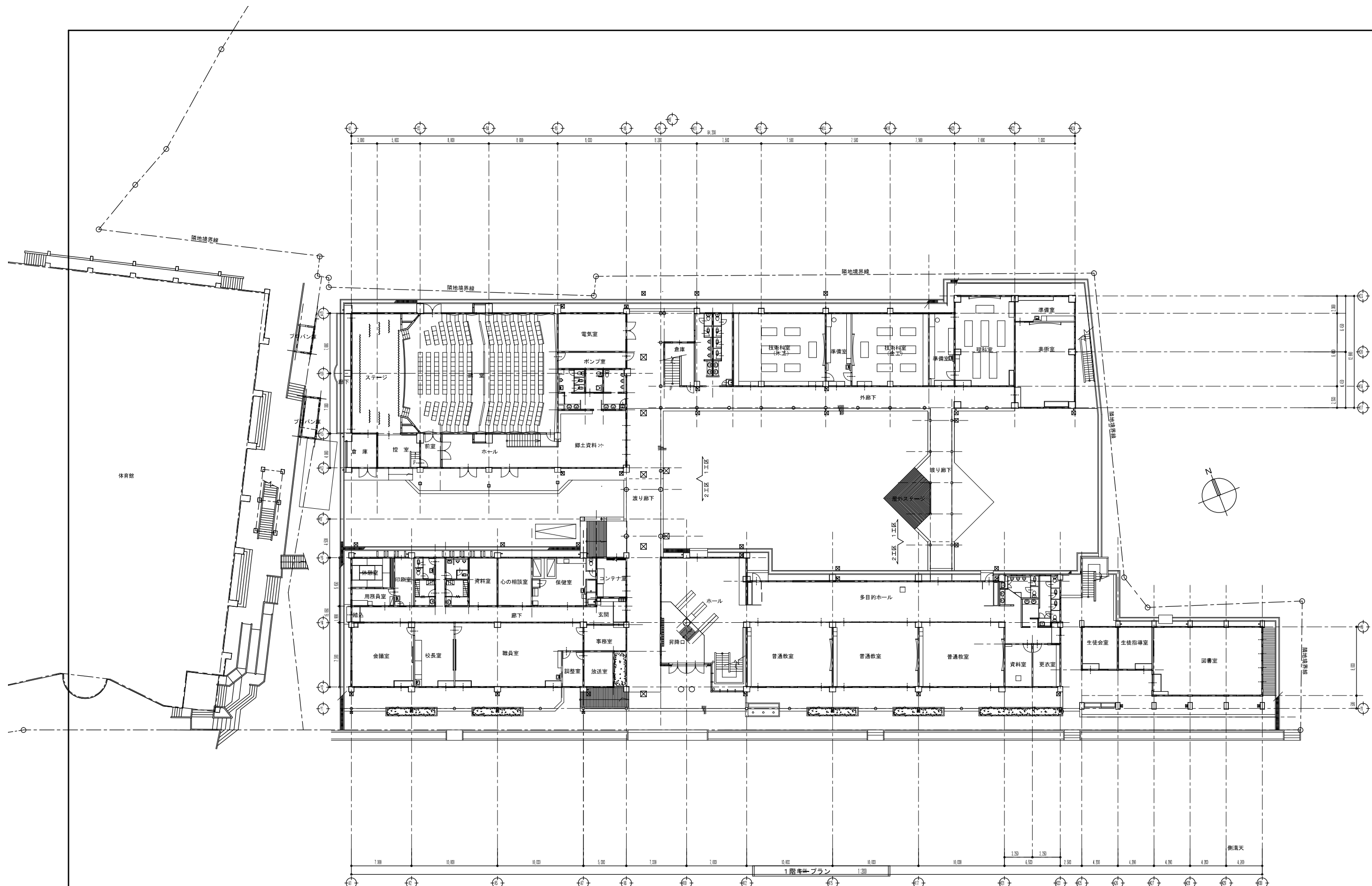
Architectural drawing template for building renovation. It includes sections for exterior wall repair (外壁改修工事), roof repair (屋根改修工事), and interior wall repair (内壁改修工事). The drawing is divided into three main parts: 1. Exterior wall repair (外壁改修工事), 2. Roof repair (屋根改修工事), and 3. Interior wall repair (内壁改修工事). Each part contains detailed specifications, materials, and construction methods. The drawing is signed by the architect, Aoki & Associates (阿部 建築士事務所), and includes a scale bar and a north arrow.

外 部 仕 上 表

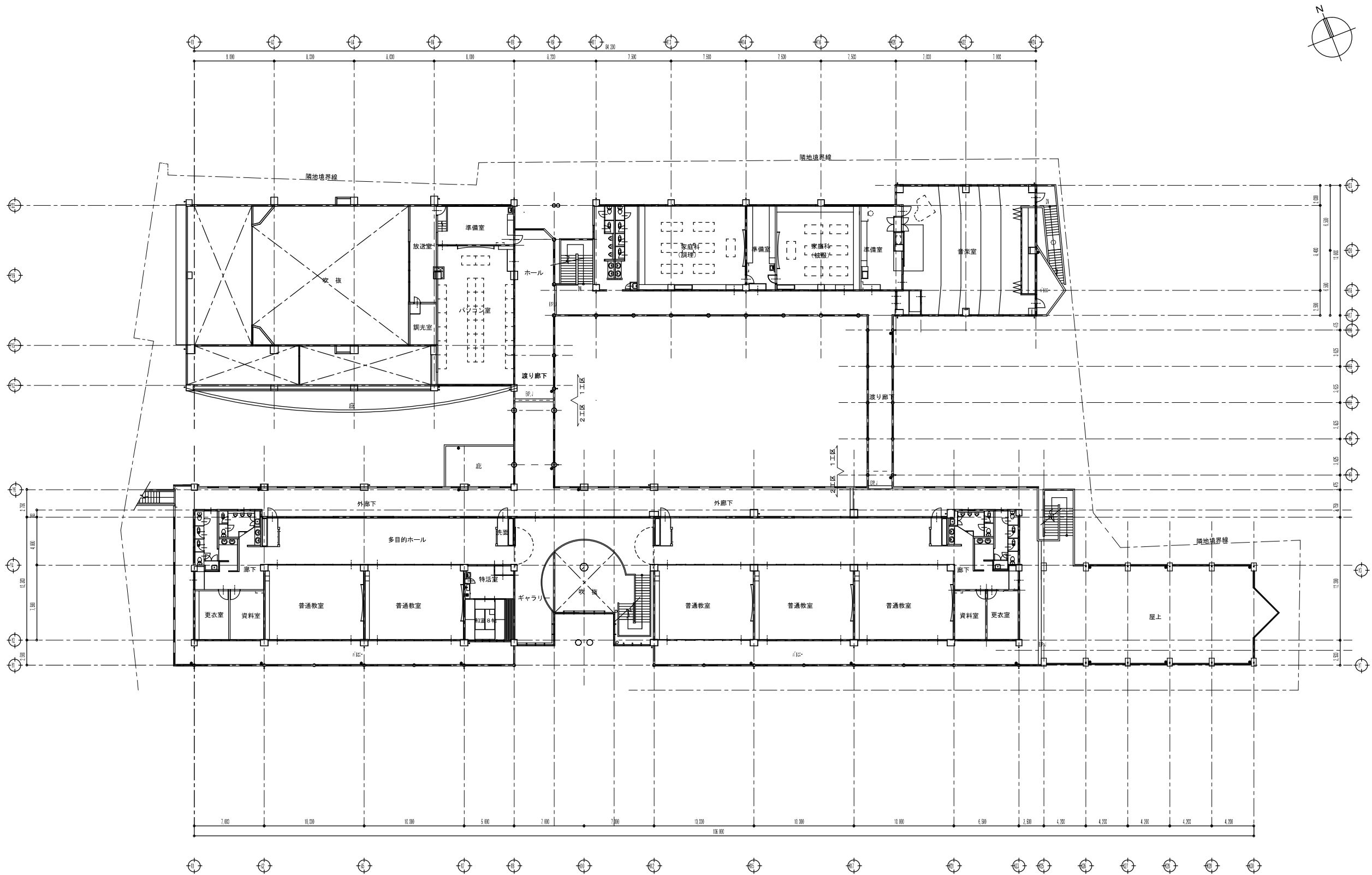
部 位	区 分		部 位	区 分		部 位	区 分		部 位	区 分	
勾 配 屋 根 (ヴォールト含む)	改修前	コンクリート金コテ押えアスファルトルーフィング敷の上 厚0.4フッ素樹脂塗装ガルバリウム鋼板瓦葺き		改修前	軽天下地厚6ノンスケイカル板2重貼の上E P 塗	サ ッ シ 廻 り (トップライト共)	改修前	シーリング	バーゴラ屋根	改修前	鉄骨組（溶融亜鉛メッキ処理）、鋼製グレーチング（メッキ処理）嵌め込み
	改修後	銅板屋根（アスファルトルーフィング共）撤去ケレン カチオン系下地調整の上塗膜防水（X－2密着工法）		改修後	ケイカル板撤去後厚10ケイカル板張替の上E P－G 塗		改修後	変成シリコンシーリング 打替え		改修後	グレーチング撤去後、鉄骨発錆部ケレン清掃の上専用補修塗料
陸 屋 根	改修前	コンクリート金コテ押えの上塗膜防水（X－2）	ド レ ン	改修前	ルーフドレン：錆鉄製φ100、中継ドレン：錆鉄製φ100	天 井 換 気 孔 (設備換気孔共)	改修前	アルミ製丸型風防付ガラリφ100	バルコニー屋根	改修前	鉄骨組（溶融亜鉛メッキ処理）、鋼製ルーバー（メッキ処理）嵌め込み
	改修後	高圧水洗浄カチオン系下地調整の上塗膜防水（X－1絶縁工法）		改修後	改修用ドレン取付		改修後	既存撤去後ステンレス製深型フード付ガラリφ100取替		改修後	発錆部ケレン清掃の上専用補修塗料
外 壁	改修前	コンクリート打放し補修の上アイカジョリパット吹付 （下地調整材はアスベスト含有）	縦 樋	改修前	樋：V P φ100塗装 掘金物：鋼製 @1,000	床 下 換 気 孔	改修前	G R C製換気口（防虫網付）			
	改修後	高圧水洗浄、外壁改修下地調整（C－1）の上防水型複層塗材E （既存下地調整材は残置、外壁改修は下地調整材アスベスト含有として処理すること）		改修後	樋：V P φ100再塗装 撤去・再取付 掘金物：ステンレス金物取替		改修後	既存のまま			
外 部 巾 木	改修前	モルタル金コテ押え	外廊下等手摺壁 階 段 手 摺 共	改修前	コンクリート打放し補修の上アイカジョリパット吹付 （下地調整材はアスベスト含有）	EXP. J. カバ ー	改修前	アルミ製既製品 クリアランス50～100			
	改修後	高圧水洗浄、外壁改修		改修後	高圧水洗浄、外壁改修下地調整（C－1）の上防水型複層塗材E （既存下地調整材は残置、外壁改修は下地調整材アスベスト含有として処理すること）		改修後	既存のまま			
揚 裏 (仕上無)	改修前	コンクリート打放し補修の上アクリルシン吹付（一部E P 塗）	外 廊 下 ・ 階 段 ハ ル コ ニー鋼製手摺 図書室屋上手摺共	改修前	鋼製50×12加工 溶融亜鉛メッキ処理の上専用塗装	犬 走	改修前	コンクリート金コテ押え			
	改修後	高圧水洗浄、外壁改修の上外装薄塗材E吹付		改修後	腐食部のみケレン、清掃の上専用補修塗料		改修後	既存のまま			

参 考 数 量 表

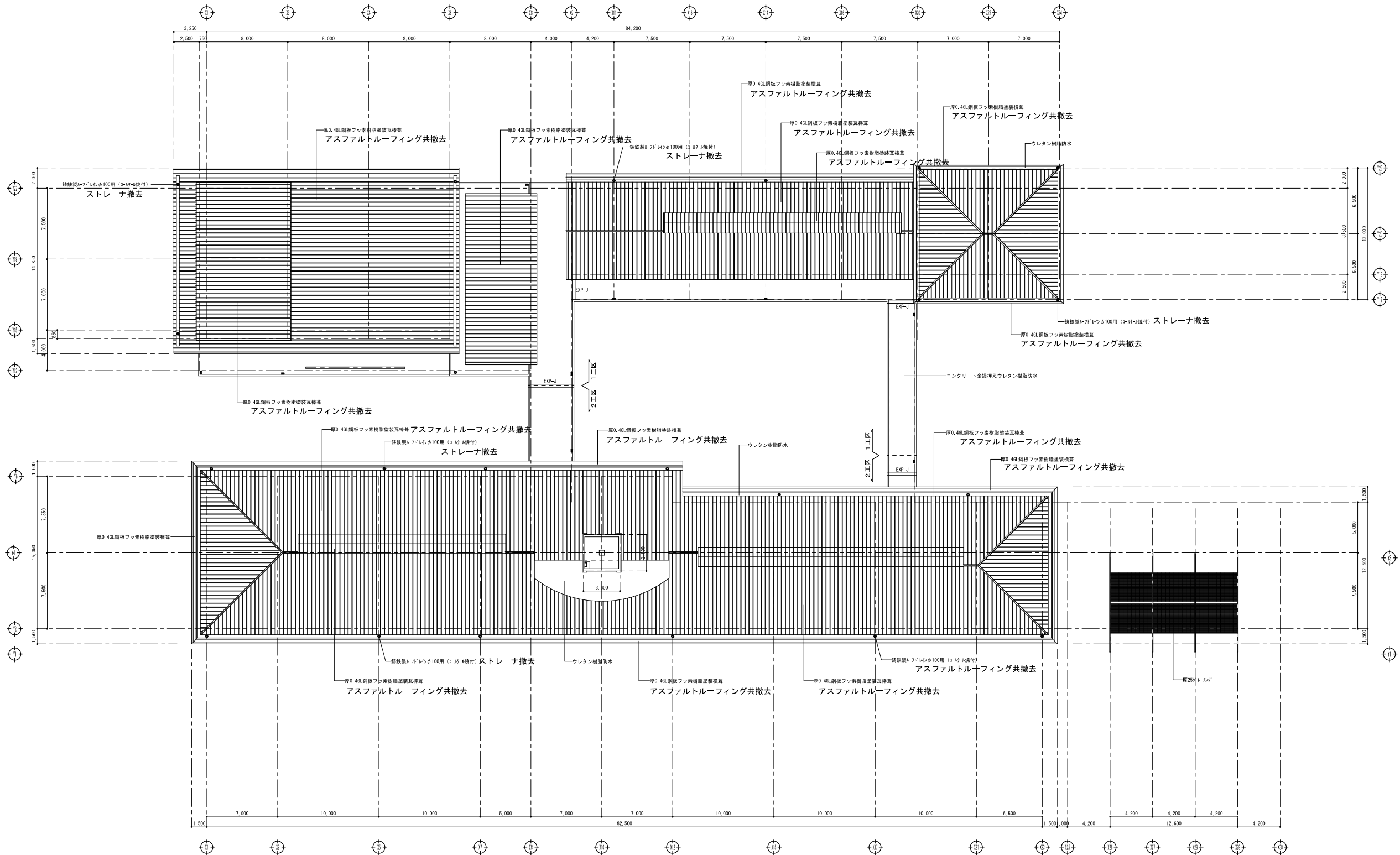
工 種	名 称	摘 要	数量（1工区）	数量（2工区）	単位	備 考	工 種	名 称	摘 要	数量（1工区）	数量（2工区）	単位	備 考
直接仮設工事	養生	外壁改修	783	1,237	m		建 具 工 事	AA-2-3 雨戸新設	W=6,900×H=2,000 4枚引分け8枚建雨戸		1	か所	
	養生	屋上防水改修	1,509	2,031	m	露出防水（塗膜）		AD-3-6 両開きアルミドア新設	W=2,000×H=2,500 カバー工法	1		か所	
	整理清掃後片付け	外壁改修	783	1,237	m			AD-3-8 両開きアルミドア新設	W=2,000×H=2,000 カバー工法	1		か所	
	整理清掃後片付け	屋上防水改修	1,509	2,031	m	露出防水（塗膜）	塗 装 工 事	堅樋φ100 耐候性塗料塗（DP）	C種 ポリウレタン系樹脂塗装 R B種共	187	174	m	
	枠組本足場	手すり先行方式12m未満	2,679	2,509	m	建枠600×1700		堅樋φ75 耐候性塗料塗（DP）	C種 ポリウレタン系樹脂塗装 R B種共		13	m	
	ブラケット足場		347	123	m			外部手摺発錆部専用補修塗料塗	腐食部のみ ケレン清掃共	10	30	m	
	安全手すり	手すり先行方式枠組本足場用	314	325	m			鉄骨発錆部専用補修塗料塗	腐食部のみ ケレン清掃共		35	m	
	メッシュシート張り	防災Ⅰ類	2,679	2,509	m			鋼製ルーバー発錆部専用補修塗料塗	腐食部のみ ケレン清掃共		50	m	
	外部仕上足場	階高4.0m以下 脚立足場	477	626	m			E P－G 塗	軒天ケイカル板面 工程B種 素地B種		96	m	
	外部仕上足場	手すり先行方式枠組棚足場 階高7.4m～9.1m	25.8	31.4	m			E P－G 塗（改修仕様）	コンクリート面 工程B種 下地調整RB種（塗替面）	93.4	124	m	
	外部階段仕上足場		14.4	14.4	m			高圧水洗浄		93.4	124	m	15Mpa程度
	仮設材運搬	枠組本足場（手すり先行方式）	2,679	2,509	m	建枠600	内 外 装 工 事	軒天厚10ケイカル板目透し張	タイプ2（ノンアス）0.8FK		96	m	
	仮設材運搬	ブラケット足場	347	123	m		外壁改修工事	施工数量調査（外壁改修）	打放し面・仕上塗材改修	3,638	4,433	m	
	仮設材運搬	安全手すり（手すり先行方式枠組本足場用）	314	325	m			鉄筋の錆落し		3.5	3.4	m	爆裂・欠損部改修 壁面
	仮設材運搬	シート張り	2,679	2,509	m			防錆剤塗布		3.5	3.4	m	同上
	仮設材運搬	外部仕上足場 脚立足場	477	626	m	転用数2		ポリマーセメントモルタル充填工法	刷毛引仕上 壁面 厚30mm程度	3.5	3.4	m	同上
	仮設材運搬	外部仕上足場 手すり先行方式枠組棚足場	25.8	31.4	m	階高7.4m～9.1m		鉄筋の錆落し		0.6	1.2	m	爆裂・欠損部改修 天井面
	仮設材運搬	外部階段仕上足場	14.4	14.4	m			防錆剤塗布		0.6	1.2	m	同上
防 水 工 事	塗膜防水（X－2密着工法） 平面	ウレタンゴム系表面塗装共	1,462	2,022	m	メーカー標準色		ポリマーセメントモルタル充填工法	刷毛引仕上 天井面 厚12mm程度	0.6	1.2	m	同上
	塗膜防水（X－2密着工法） 立上り	ウレタンゴム系表面塗装共	36.2	28.3	m	メーカー標準色		自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	壁面	179	174	m	ひび割れ部改修 壁面
	塗膜防水（X－2密着工法） 排水溝	ウレタンゴム系表面塗装共	131	190	m	メーカー標準色		自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	天井面	31	60	m	ひび割れ部改修 天井面
	下地調整	カチオン系	1,629	2,240	m		撤 去 工 事	既存瓦棒・横葺き 屋根撤去	アスファルトルーフィング共 集積共	1,103	1,456	m	
	屋根面高圧水洗浄		526	737	m	15Mpa程度		ケレン・清掃	既存瓦棒・横葺き撤去跡	1,103	1,456	m	
	改修用ルーフドレンφ100	ストレーナー撤去共	18	24	か所			デッキ材撤去	杉板厚19 根太・大引共 集積共		11.6	m	
	改修用ルーフドレンφ75	ストレーナー撤去共		1	か所			バーゴラグレーチング撤去	スチール亜鉛メッキ 厚25 集積共		75.6	m	
	ストレーナ取替φ100	ストレーナー撤去共	5	11	か所			天井換気孔撤去	既存アルミ製丸型風防付ガラリ撤去 集積共	25	25	か所	
	ストレーナ取替φ75	ストレーナー撤去共		1	か所			天井合板・ボード撤去	二重張り 一般 集積共		96	m	
	シーリング材（換気孔）	変成シリコン系（MS-2）10×10	14.5	14.5	m			シーリング撤去	集積共	963	1,178	m	
	シーリング材（建具周囲）	変成シリコン系（MS-2）15×10	976	1,178	m		発 生 材 処 理	発生材積込・運搬(2t積)・処分(再資源化)	木材 人力		0.5	m3	D I D区間無し 3.5km以下
	既存堅樋撤去・再取付 VPφ100	ステンレス製掘り金物取替共	187	174	m	@1,000		発生材積込・運搬(2t積)・処分	アスファルトルーフィング 人力	1.4	1.9	m3	D I D区間無し 3.4km以下
	既存堅樋撤去・再取付 VPφ75	ステンレス製掘り金物取替共		13	m	@1,000		発生材積込・運搬(2t積)・処分	ケイカル板 人力		2.3	m3	D I D区間無し 3.4km以下
金 属 工 事	天井換気孔ステンレス深型フード付きガラリφ100取替		25	25	か所			発生材積込・運搬(2t積)・処分	廃プラスチック 人力	0.1	0.1	m3	D I D区間無し 3.4km以下
	天井廻縁 塩化ビニル製	既存天井廻縁撤去共		64.9	m			スクラップ	アルミ	76.6	4.6	kg	
左 官 工 事	防水型複層塗材E アクリル系 水系 つや有	下地調整 (C-1) 共、凹凸状吹付	2,808	3,169	m	既存吹付面		スクラップ	スチール H3	0.04	2.2	t	
	外装薄塗材E	下地調整 (C-1) 共、砂壁状吹付	624	1,083	m	既存吹付面		スクラップ	スチール H4	5	6.6	t	
	外壁面高圧水洗浄		3,545	4,433	m	15Mpa程度		スクラップ	錆鉄	0.03	0.04	t	
								産業廃棄物税	最終処分場	1.5	4.2	t	



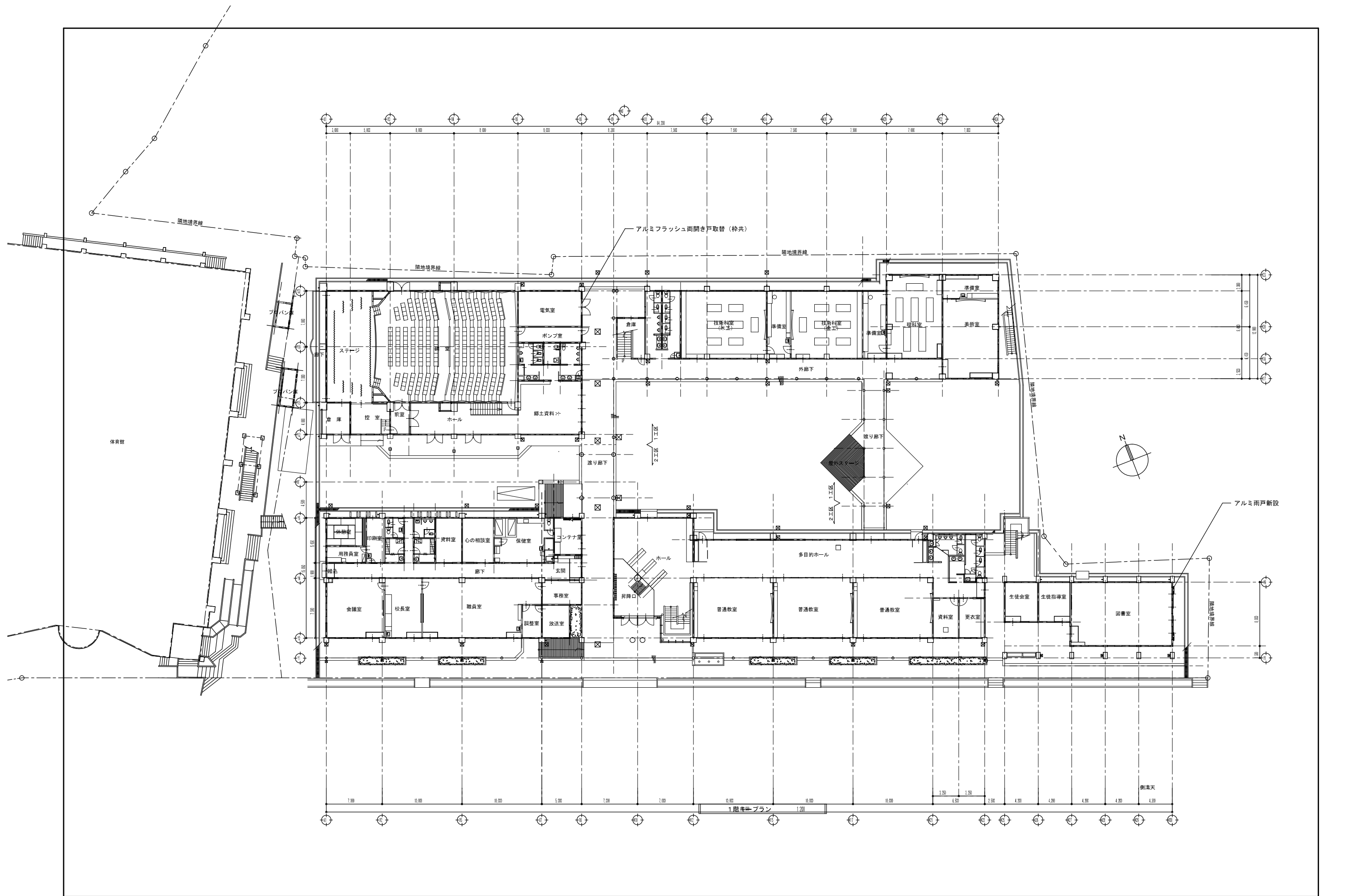
特 記 事 項							ARCHI-PLAN 一級建築士事務所 (株)アーキ・プラン						工 事 名	和治中学校校舎改修工事			DATE	JOB NO.	SHEET NO.
							〒890-0082 鹿児島市紫原三丁目44-18 TEL (099) 258-0070 FAX (099) 258-0076							R5.12.25			PWT-111S	A-08	
														図 名			既存 1 階平面図		



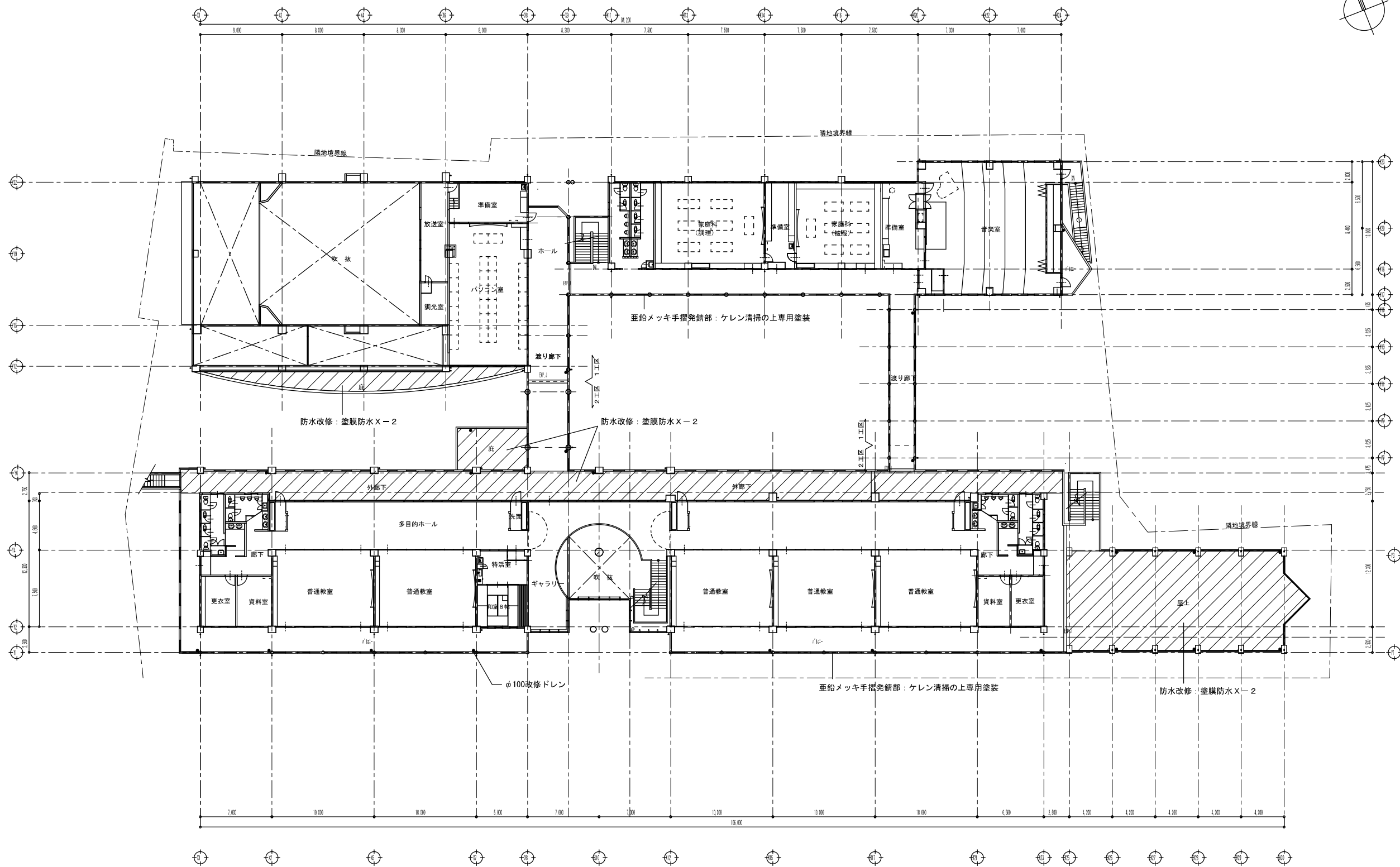
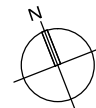
特 記 事 項							ARCHI-PLAN 一級建築士事務所 (株)アーキ・プラン			DIRECTOR	CHIEF	DRAWER	工 事 名	和治中学校校舎改修工事	DATE	JOB NO.	SHEET NO.
							〒890-0082 鹿児島市紫原三丁目44-18 TEL (099) 258-0070 FAX (099) 258-0076								R5.12.25	PWT-111S	A-09
													図 名	既存 2 階平面図	SCALE	一級建築士 建築大士登録第 84458 号 古 川 穂	
								A3,1:400 A1,1:200									



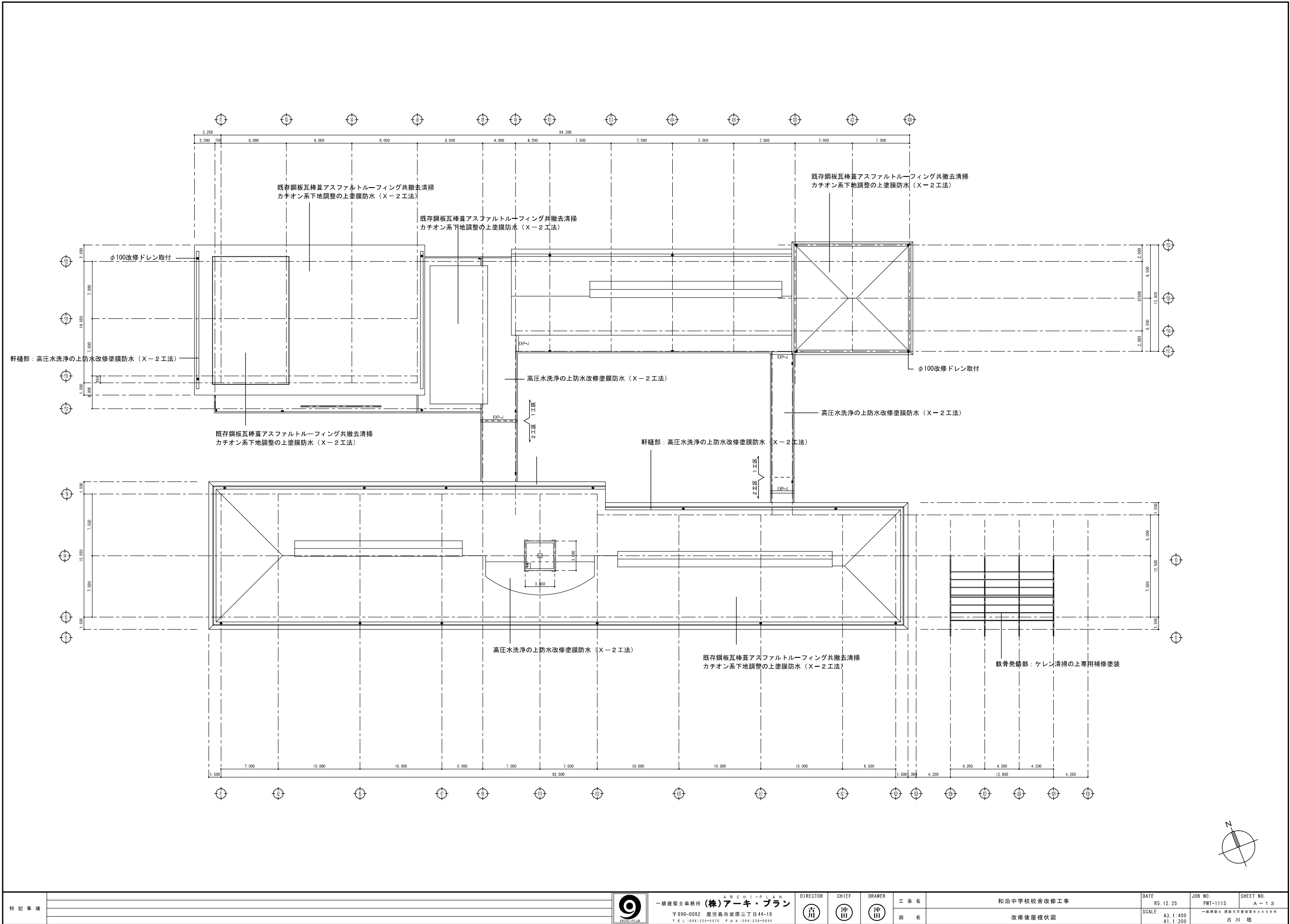
特 記 事 項							<div><div><div>ARCHI-PLAN</div></div><div>一級建築士事務所 (株)アーキ・プラン 〒890-0082 鹿児島市紫原三丁目44-18 TEL (099) 258-0070 FAX (099) 258-0070</div><div><div>DIRECTOR </div><div>CHIEF </div><div>DRAWER </div></div></div>	和泊中学校校舎改修工事		DATE R5.12.25	JOB NO. PWT-111S	SHEET NO. A-10
								図 名 既存屋根伏図	SCALE A3, 1:400 A1, 1:200	一級建築士 建設大士事務所 8445号 古川 穂		



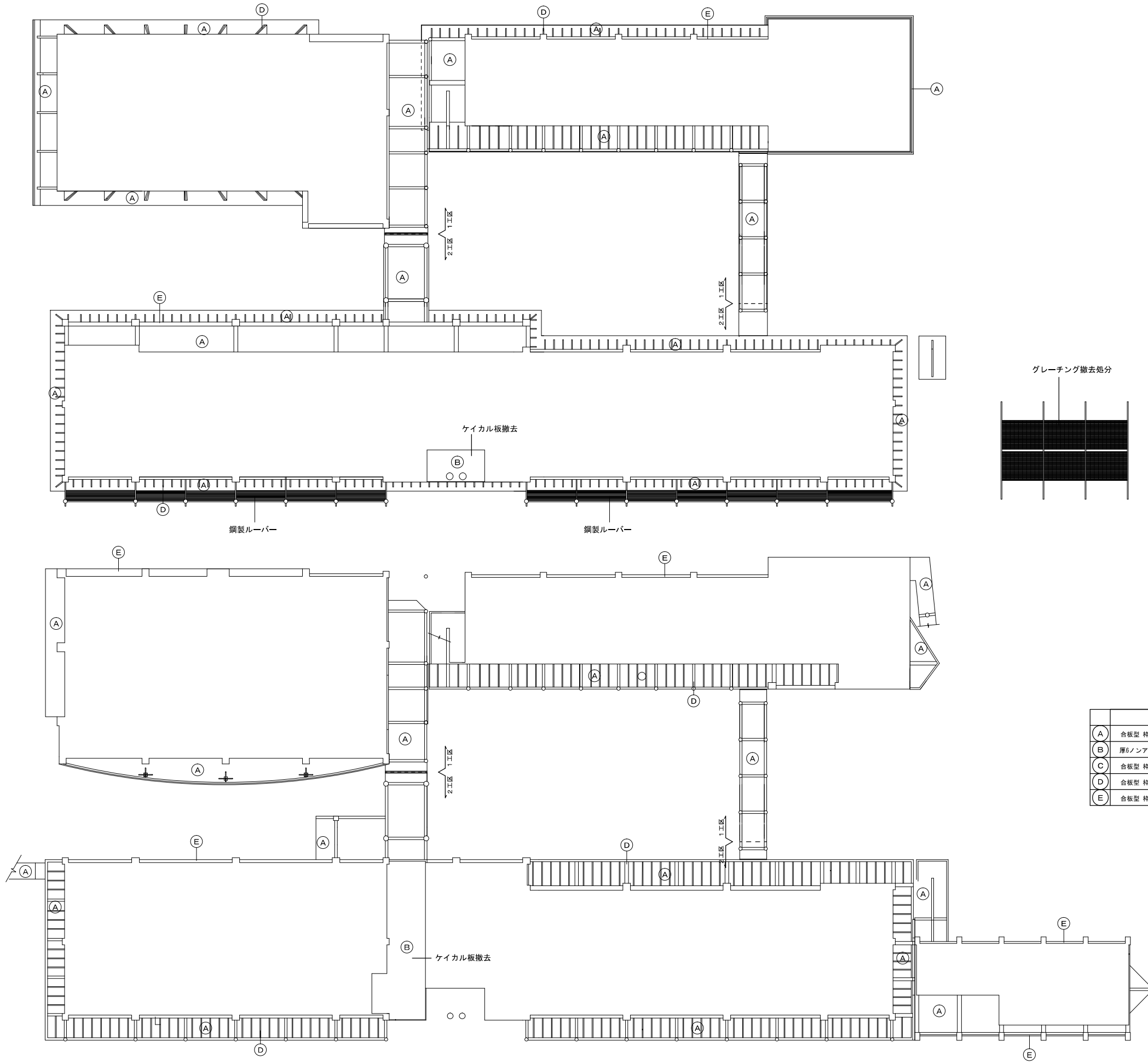
特 記 事 項						 ARCHI-PLAN 一級建築士事務所 (株)アーキ・プラン 〒890-0082 鹿児島市東原三丁目44-18 TEL (099) 258-0070 FAX (099) 258-0096	DIRECTOR 	CHIEF 	DRAWER 	工 事 名 和泊中学校校舎改修工事	DATE R5.12.25	JOB NO. PWT-111S	SHEET NO. A-11
											SCALE A3, 1:400 A1, 1:200	一級建築士 建築大士登録第84458号 古川 雄	



特 記 事 項	<div>ARCHITECT</div> <div></div> <div>一級建築士事務所 (株)アーキ・プラン</div> <div>〒890-0082 鹿児島市紫原三丁目44-18</div> <div>T E L (099) 258-0070 F A X (099) 258-0076</div>					DIRECTOR	CHIEF	DRAWER	工 事 名	和泊中学校校舎改修工事	DATE	JOB NO.	SHEET NO.
	<div></div>					<div></div>	<div></div>	図 名	改修後2階平面図	R5.12.25	PWT-111S	A-12	
								図 名	改修後2階平面図	SCALE	A3, 1:400 A1, 1:200		
										一級建築士 建築大士登録第84458号 古川 穂			



特 記 事 項	<div>ARCHITECT</div> <div>一級建築士事務所 (株)アーキ・プラン</div> <div>〒890-0082 鹿児島市常原三丁目44-18</div> <div>TEL (099) 258-0070 FAX (099) 258-0070</div>				<div>DIRECTOR</div> <div>吉川</div>	<div>CHIEF</div> <div>沖田</div>	<div>DRAWER</div> <div>沖田</div>	工 事 名	和泊中学校校舎改修工事	DATE	R5.12.25	JOB NO.	PWT-111S	SHEET NO.	A-13
	図 名	改修後屋根伏図	SCALE	A3, 1:400 A1, 1:200				一級建築士 建築大士事務所 84458号				古川 穂			



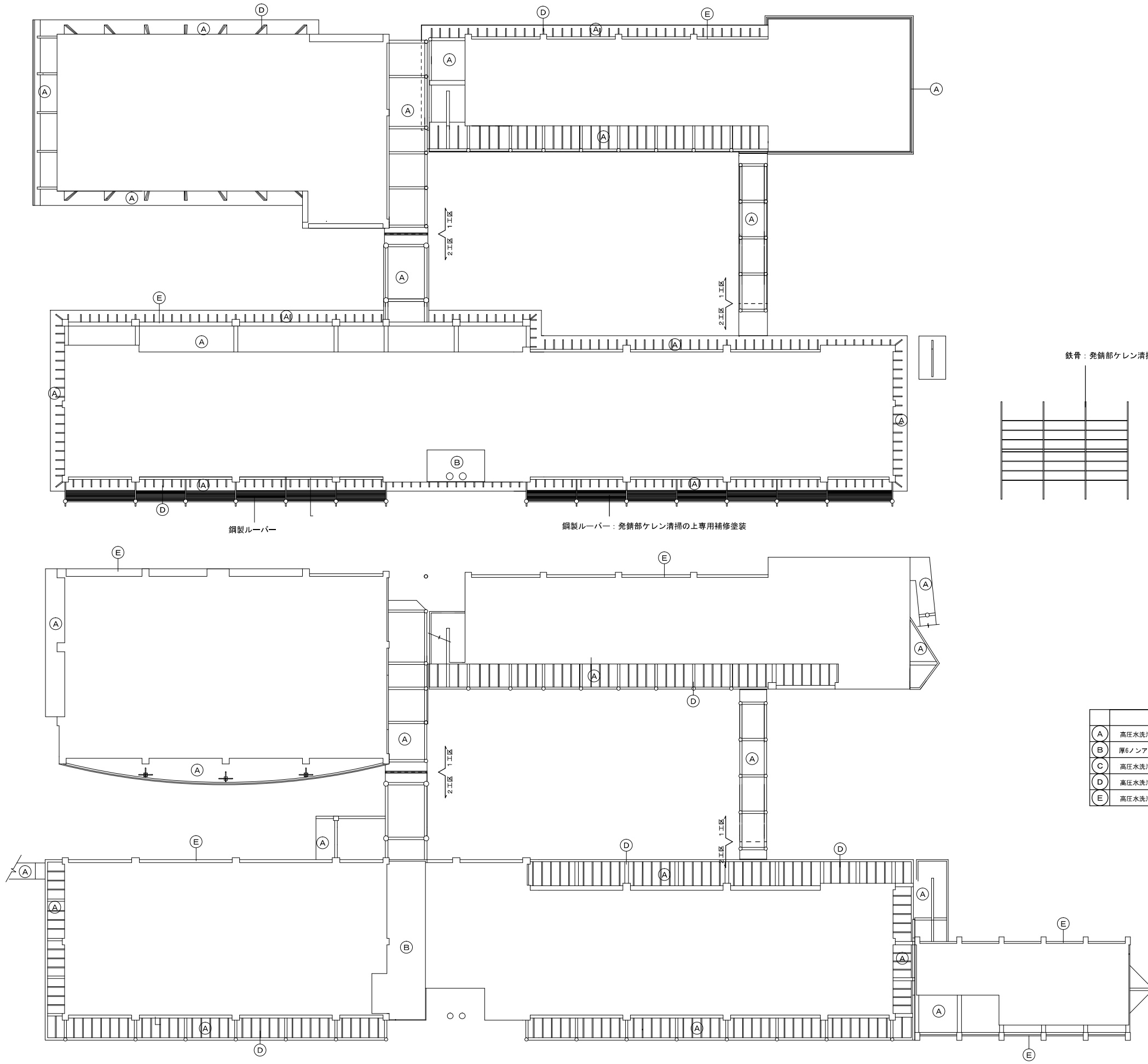
既存 2 階天井伏図

A3, 1:400
A1, 1:200

仕 上 表	
(A)	合板型 枠コンクリート打放シ補修ノ上アクリル系リシン吹付
(B)	厚6ノンアス建築カルシウム板目透シ貼ノ上EP
(C)	合板型 枠コンクリート打放シ素地
(D)	合板型 枠コンクリート打放シ補修ノ上EP
(E)	合板型 枠コンクリート打放シ補修ノ上ジョリパット吹付

既存 1 階天井伏図

A3, 1:400
A1, 1:200



鉄骨：発錆部ケレン清掃の上専用補修塗装

鋼製ルーバー

鋼製ルーバー：発錆部ケレン清掃の上専用補修塗装

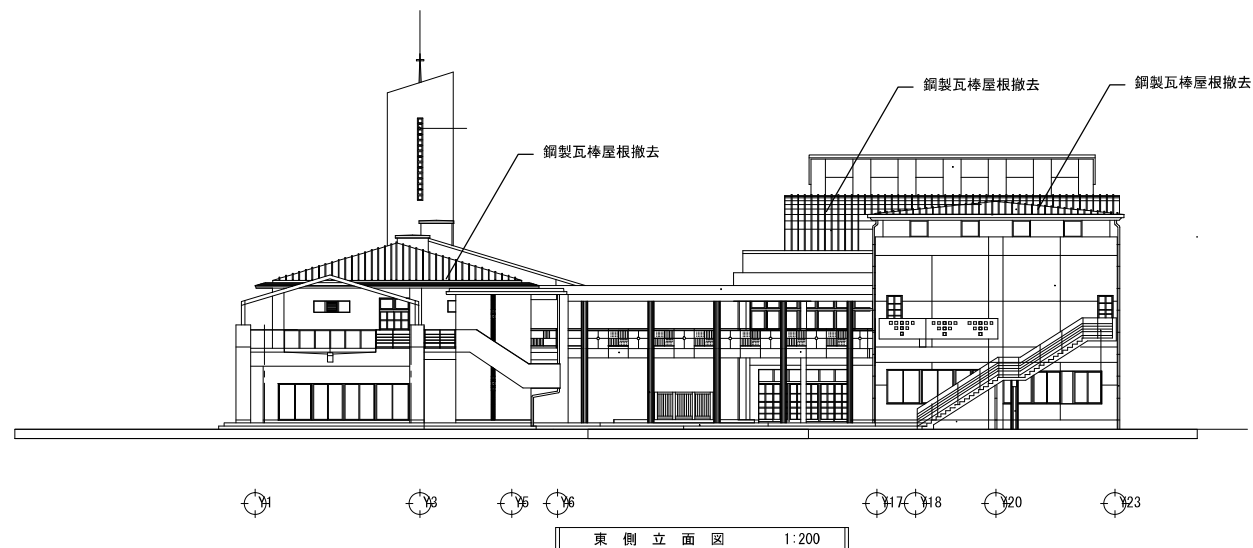
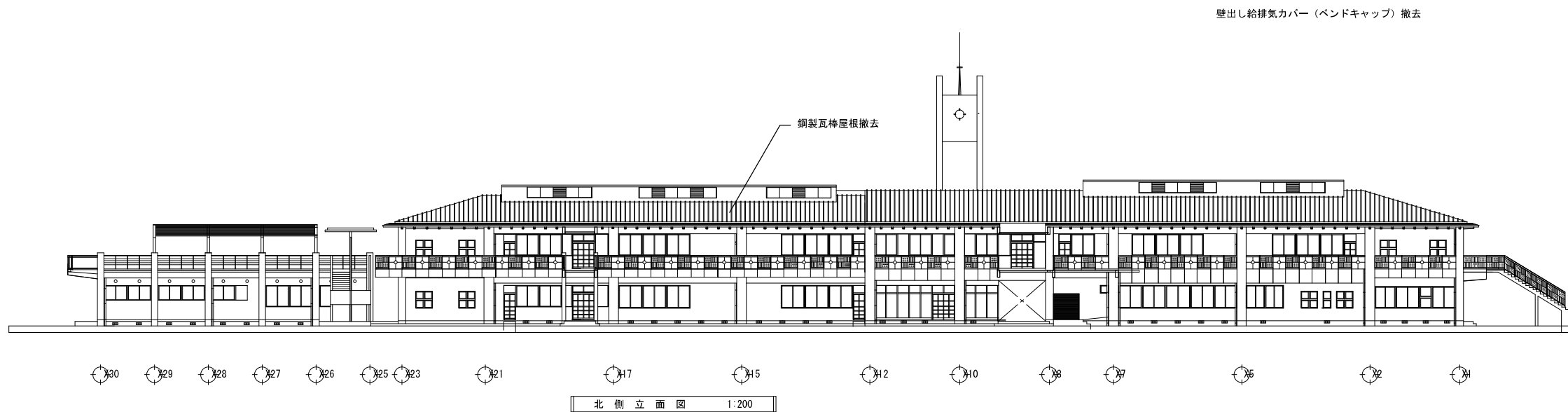
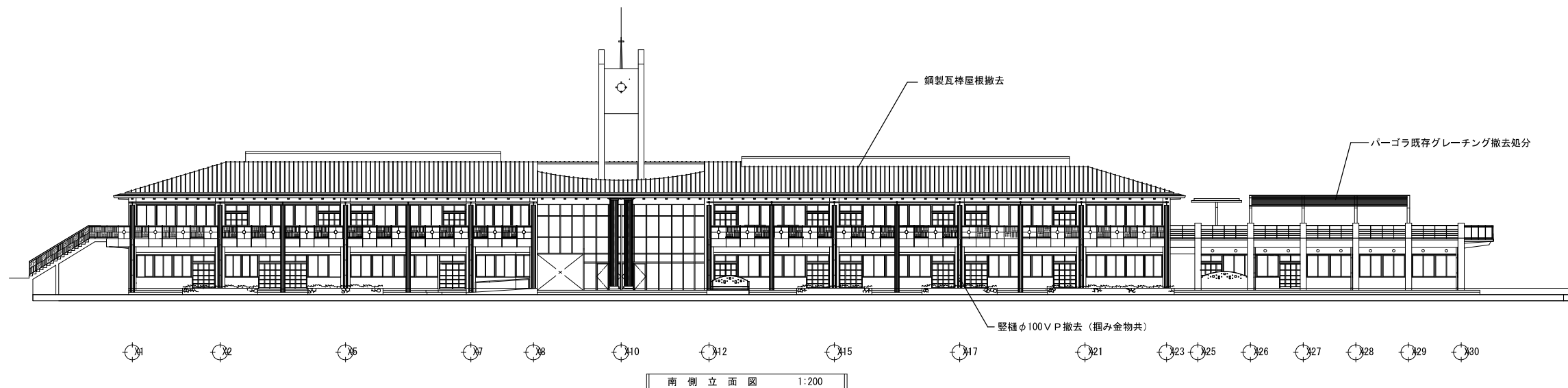
改修後 2階天井伏図

A3, 1:400
A1, 1:200

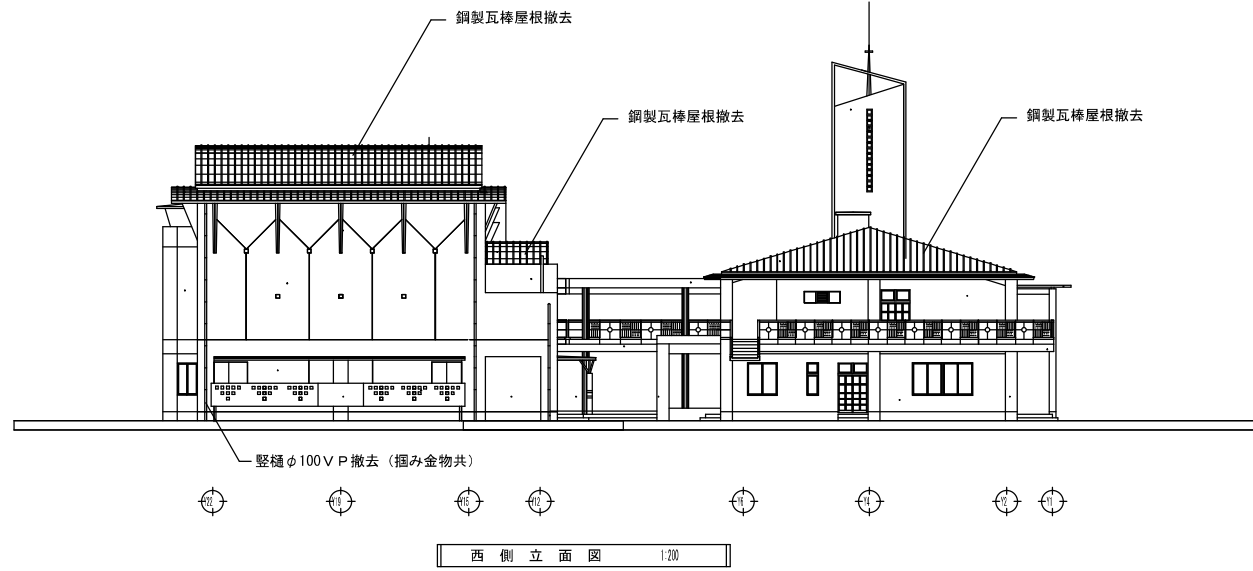
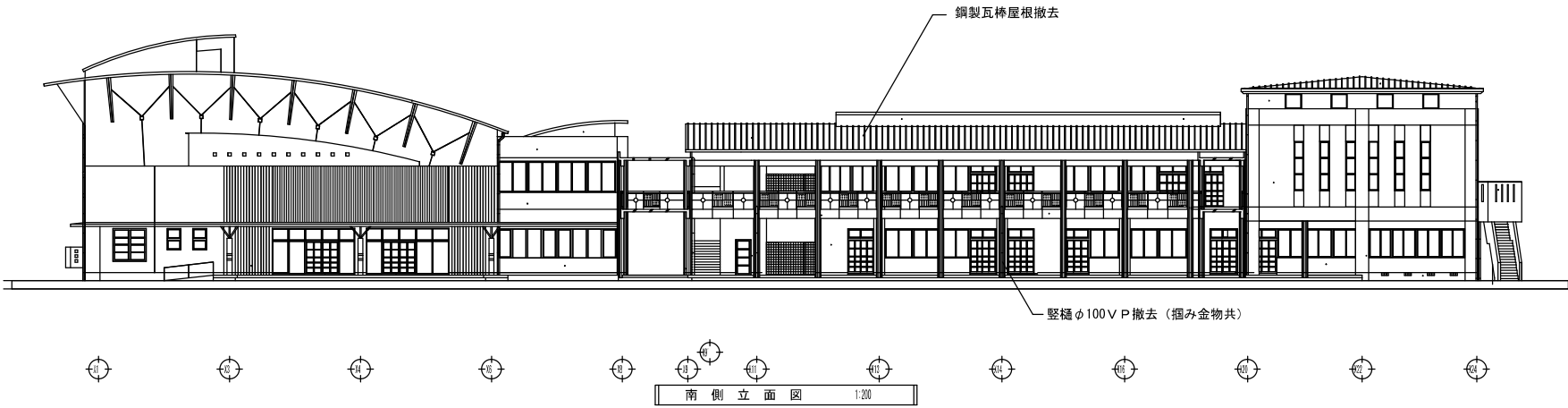
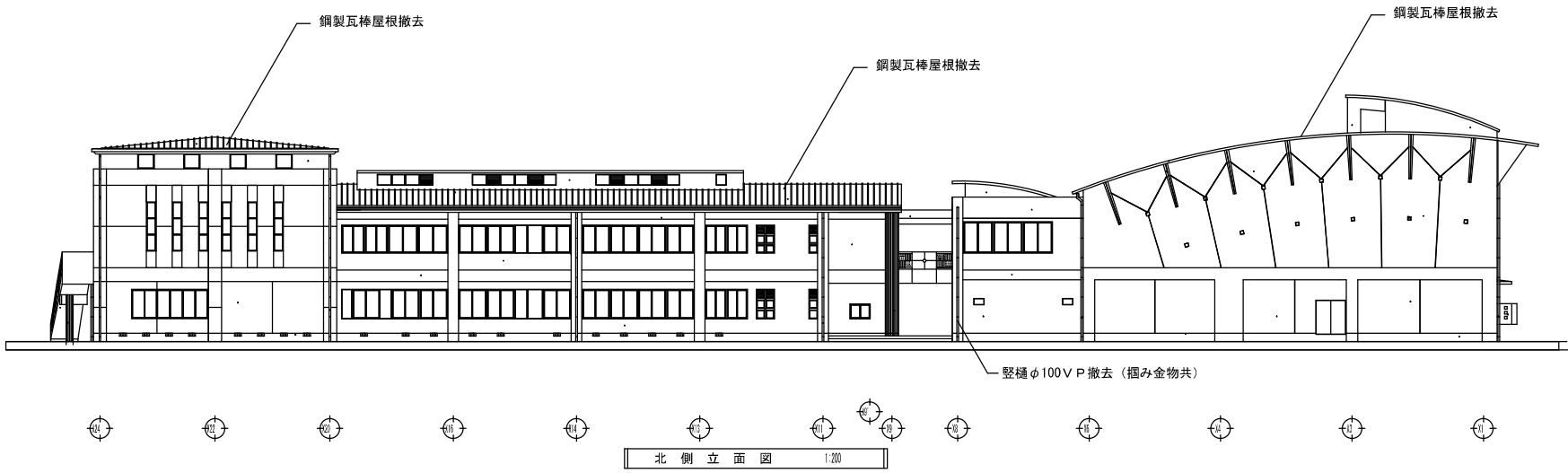
仕 上 表	
(A)	高圧水洗浄外壁改修の上外装薄塗材 E
(B)	厚6ノンアス建機カルシウム板目透シ貼ノ上 E P-G 塗
(C)	高圧水洗浄外壁改修の上モルタル補修
(D)	高圧水洗浄外壁改修の上 E P-G 塗
(E)	高圧水洗浄外壁改修の上防水型複層塗材 E

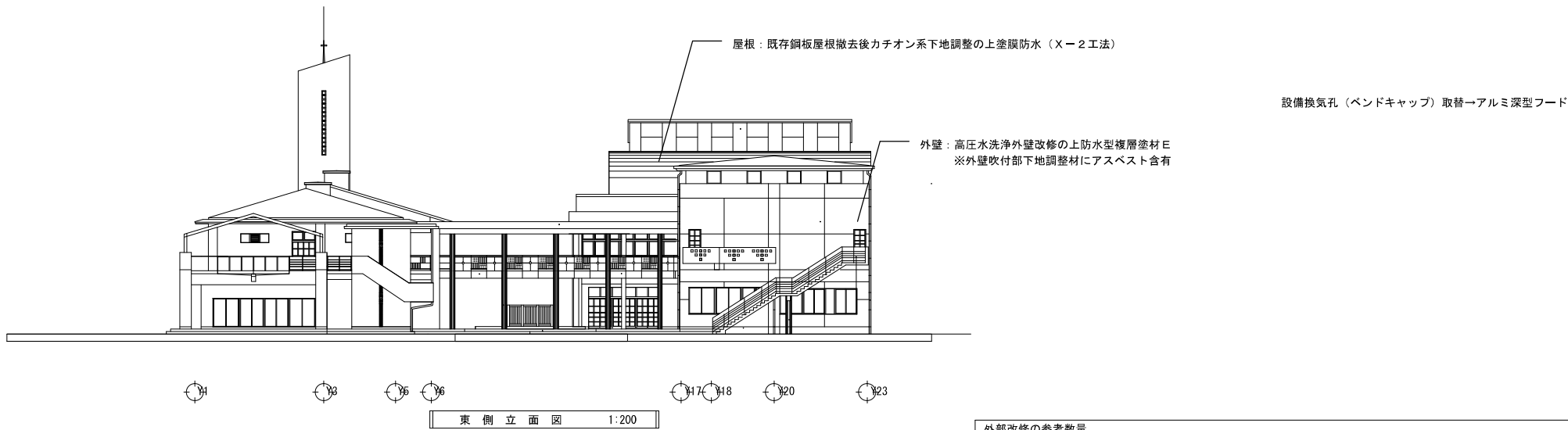
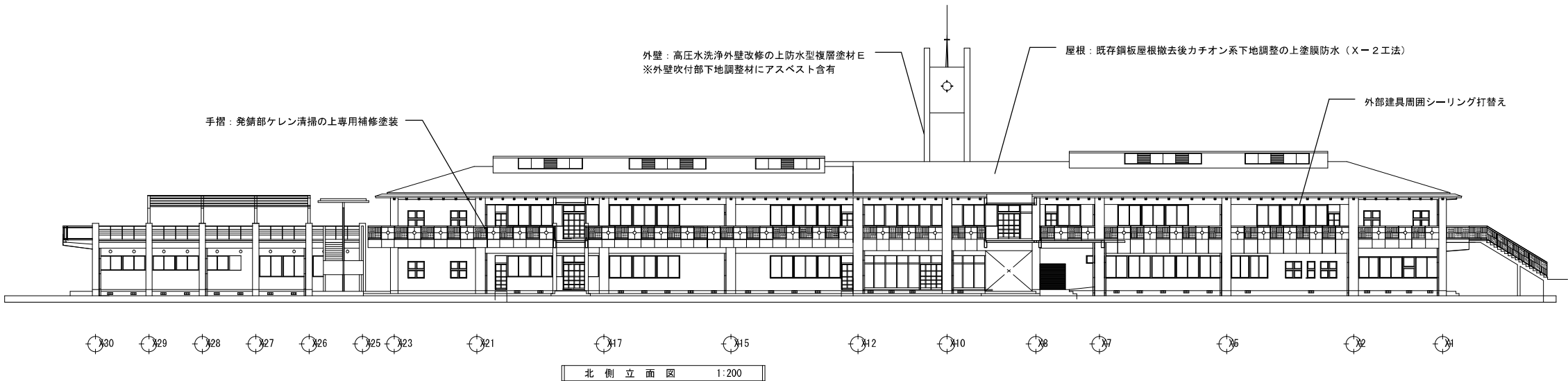
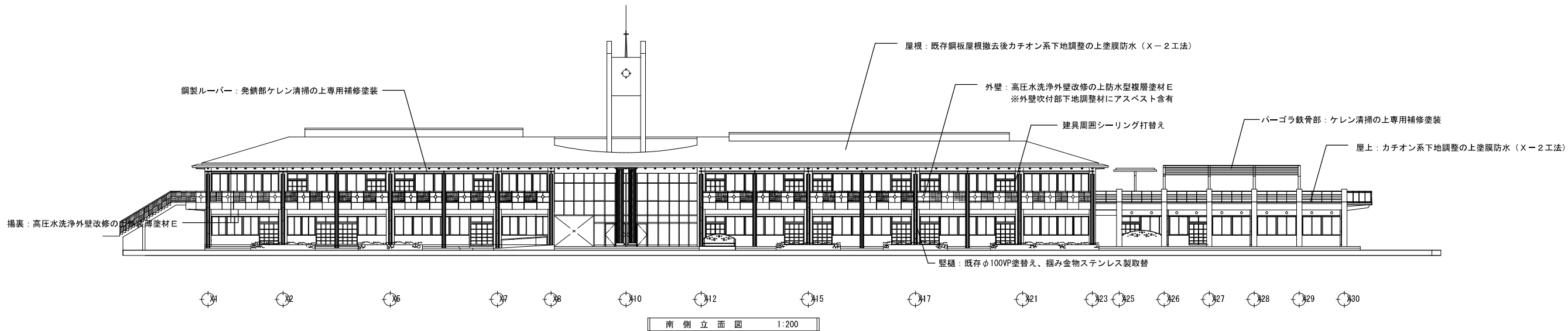
改修後 1階天井伏図

A3, 1:400
A1, 1:200



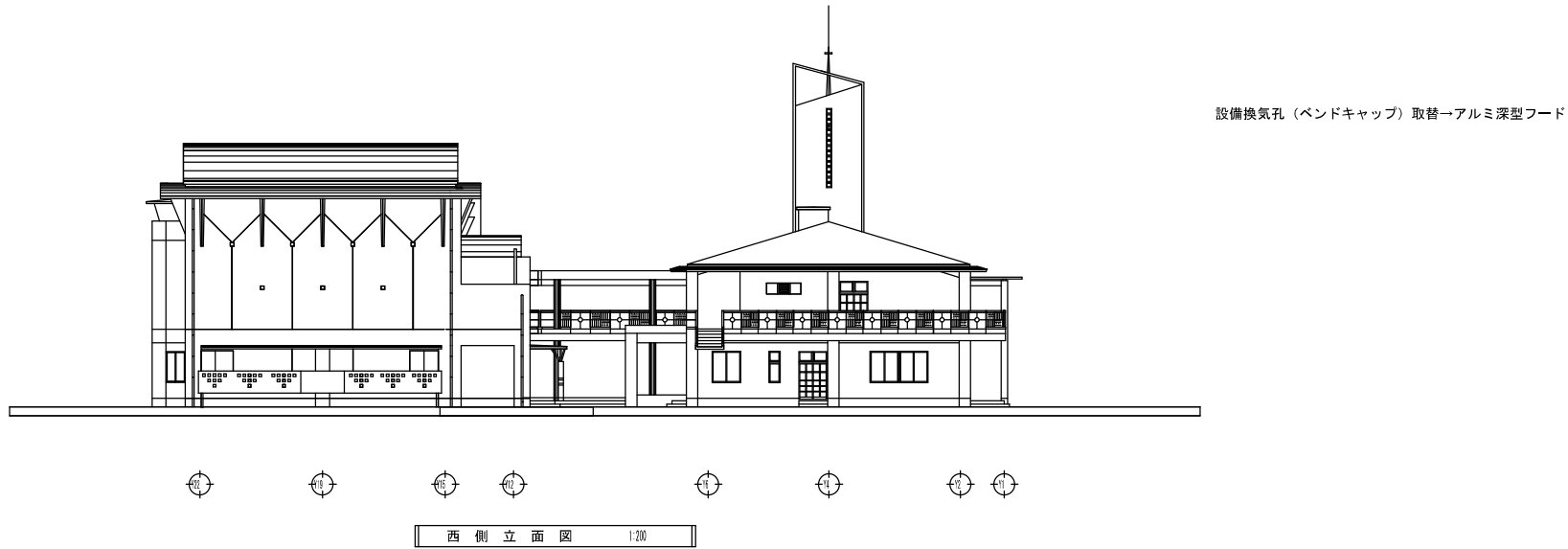
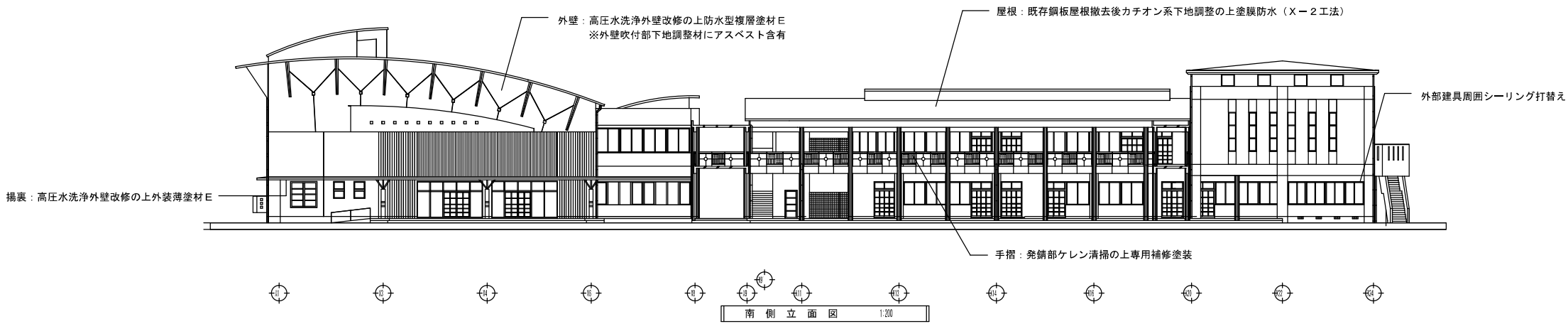
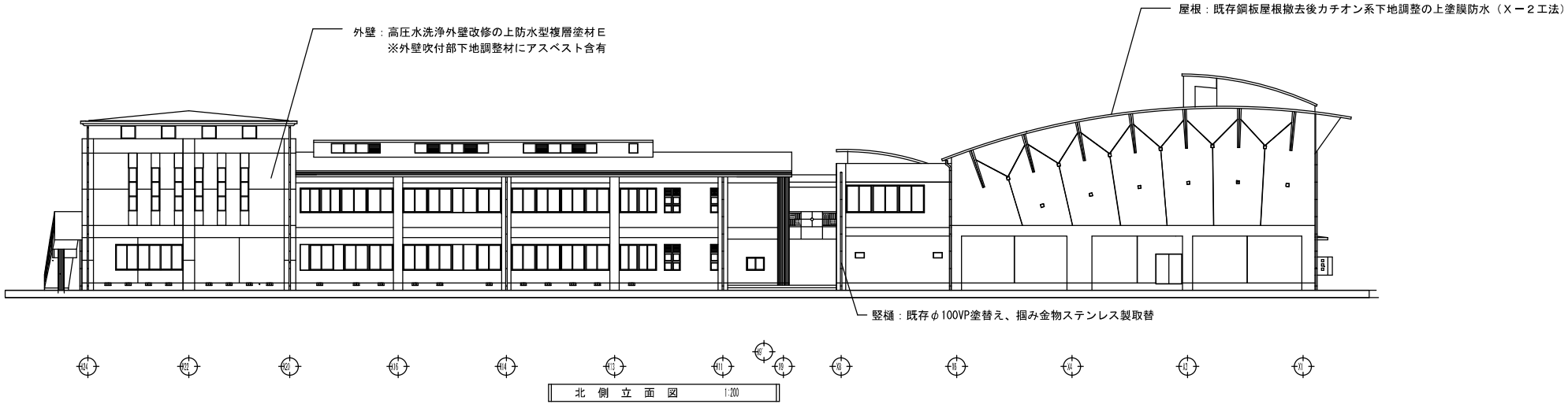
特 記 事 項							ARCH-PLAN 一級建築士事務所 (株)アーキ・プラン						工 事 名	和治中学校校舎改修工事		DATE	R5.12.25	JOB NO.	PWT-111S	SHEET NO.	A-16
	図 名		既存立面図-1		SCALE		A3, 1:400 A1, 1:200		一級建築士 建築大士登録第84458号 古川 穂												





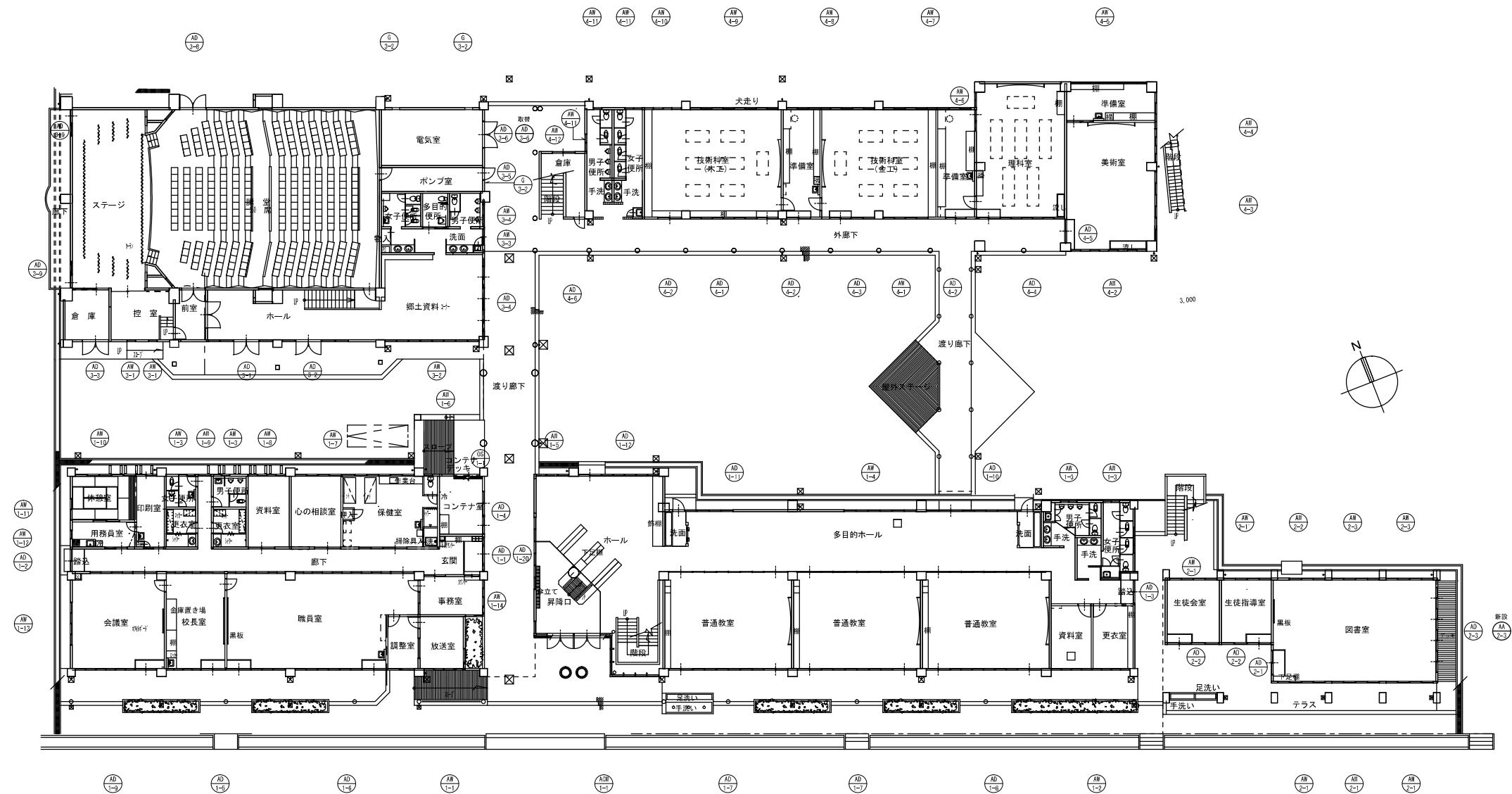
外部改修の参考数量				
改修部位	改修内容	1工区	2工区	合計
外部手摺	発錆部ケレン清掃の上部分専用補修塗装	30.0㎡	10.0㎡	40.0㎡
バーゴラ屋根(鉄骨部)	発錆部ケレン清掃の上部分専用補修塗装	35.0㎡	—	35.0㎡
バルコニー屋根ルーバー	発錆部ケレン清掃の上部分専用補修塗装	50.0㎡	—	50.0㎡
設備換気孔	既存風防付ガラリ撤去後Φ100アルミ深型フード取付	25ヶ所	25ヶ所	50ヶ所

溶融亜鉛メッキ処理鋼材の発錆部をケレン清掃した後の塗装については、ローバル同等品とする。

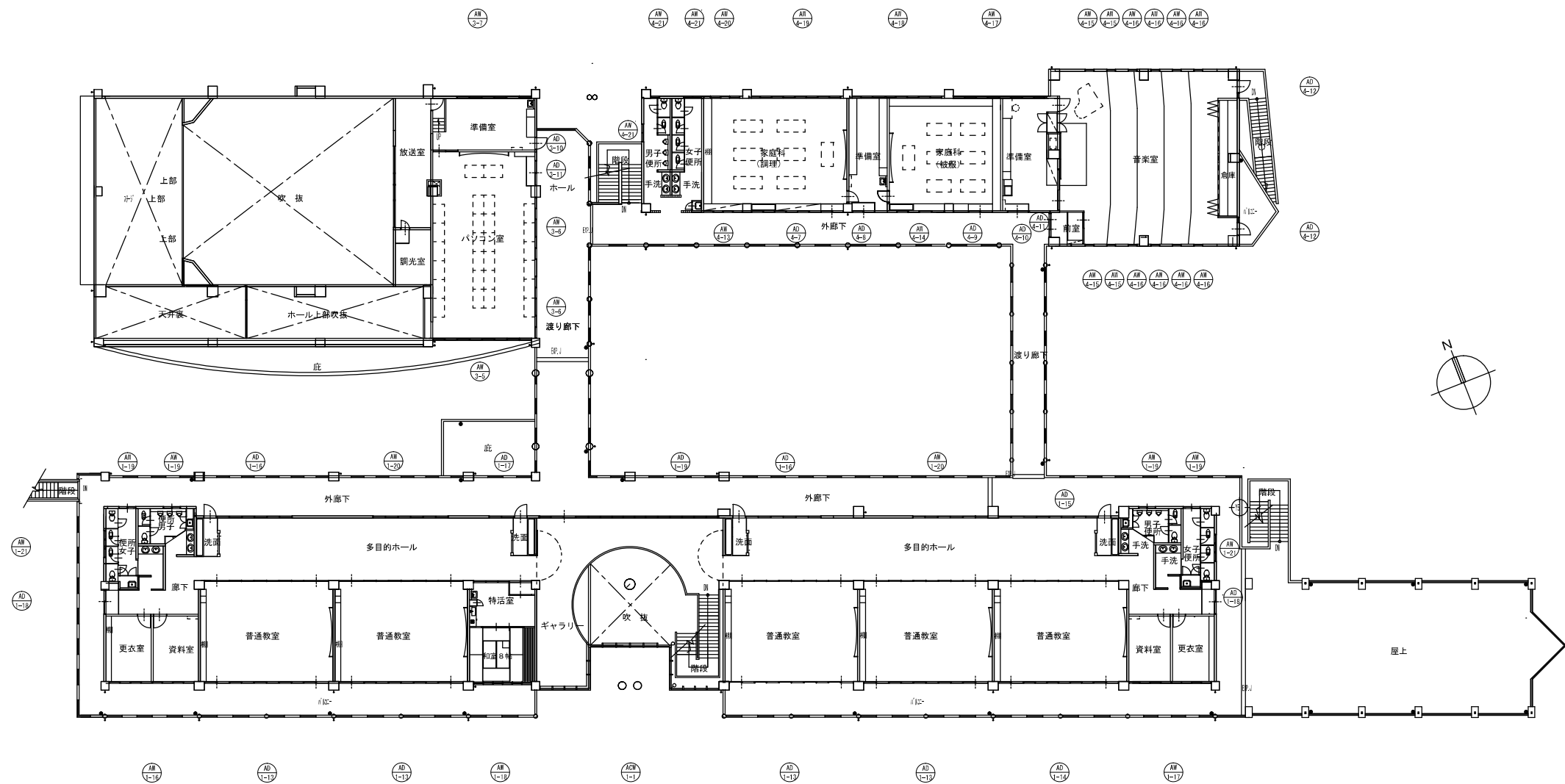


特記事項		 <div>ARCHI-PLAN</div>	一級建築士事務所 (株)アーキ・プラン 〒890-0082 鹿児島市紫原三丁目44-18 TEL (099) 258-0070 FAX (099) 258-0096	 <div>DIRECTOR</div>	 <div>CHIEF</div>	 <div>DRAWER</div>	工事名	和治中学校校舎改修工事	DATE	R5.12.25	JOB NO.	PWT-111S	SHEET NO.	A-19
							図名	改修後立面図-2	SCALE	A3:1,400 A1:1,200	一級建築士 建築大士登録第84458号 古川 穂			





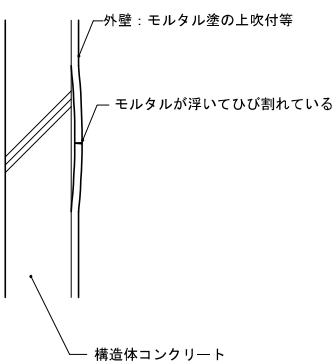
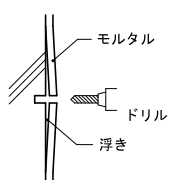
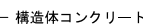
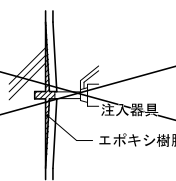
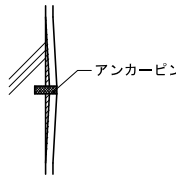
1階外部建具配置図 1/200

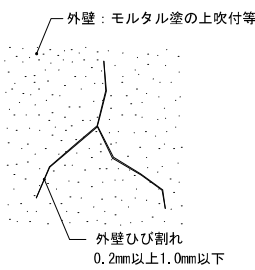
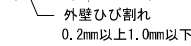
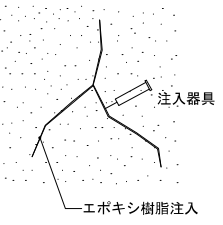


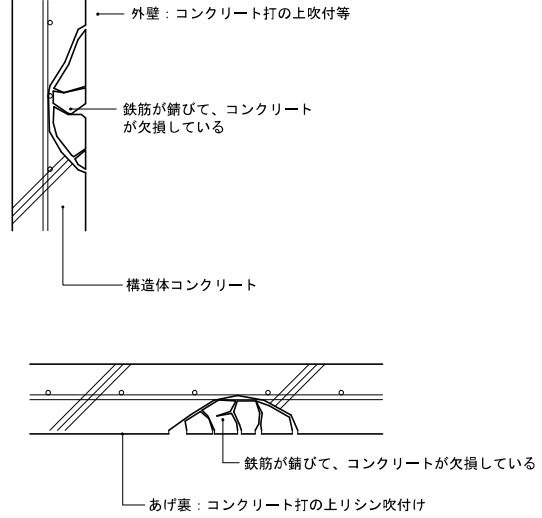
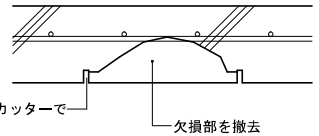
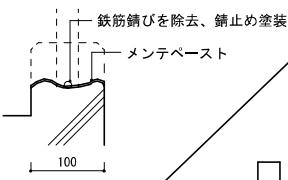
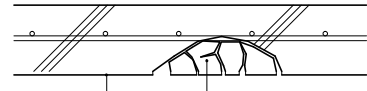
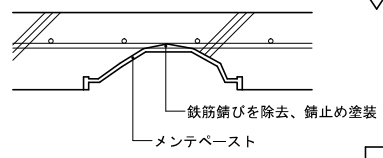

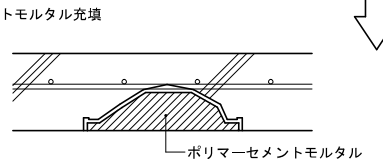
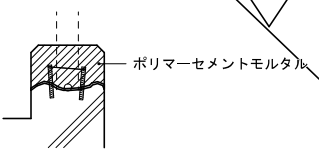
2階外部建具配置図 1/1000

特 記 事 項						 ARCHI-PLAN	ARCHI-PLAN 一級建築士事務所 (株)アーキ・プラン 〒890-0082 鹿児島市紫原三丁目44-18 TEL (099) 258-0070 FAX (099) 258-0090			DIRECTOR  吉川	CHIEF  沖田	DRAWER  沖田	工 事 名	和治中学校校舎改修工事			DATE R5.12.25	JOB NO. PWT-111S	SHEET NO. A-23		
													図 名	外部建具配置図 2階			SCALE A3, 1:400 A1, 1:200	一級建築士 建設大士事務所 84458号 古川 穂			

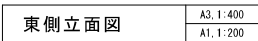
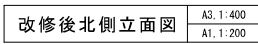
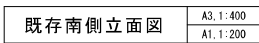
AD 3-10	1ヶ所	AD 3-11	1ヶ所	AW 3-1	2ヶ所	AW 3-2	1ヶ所	AW 3-3	1ヶ所	AW 3-4	1ヶ所	AW 3-5	1ヶ所	AW 3-6	2ヶ所	AW 3-7	1ヶ所
G 3-2	3ヶ所	AD 4-1	1ヶ所	AD 4-2	3ヶ所	AD 4-3	1ヶ所	AD 4-4	1ヶ所	AD 4-5	1ヶ所	AD 4-6	1ヶ所	AD 4-7	1ヶ所	AD 4-7	1ヶ所
AD 4-8	1ヶ所	AD 4-9	1ヶ所	AD 4-10	1ヶ所	AD 4-11	1ヶ所	AD 4-12	2ヶ所	AW 4-1	1ヶ所	AW 4-2	1ヶ所	AW 4-3	1ヶ所	AW 4-4	1ヶ所
AW 4-6	1ヶ所	AW 4-7	1ヶ所	AW 4-8	1ヶ所	AW 4-9	1ヶ所	AW 4-10	1ヶ所	AW 4-11	1ヶ所	AW 4-11	3ヶ所	AW 4-12	1ヶ所	AW 4-13	1ヶ所
AW 4-14	1ヶ所	AW 4-15	4ヶ所	AW 4-16	8ヶ所	AW 4-17	1ヶ所	AW 4-18	1ヶ所	AW 4-19	1ヶ所	AW 4-20	1ヶ所	AW 4-21	1ヶ所	AW 4-21	2ヶ所
符号・場所		AA 2-3	図書室 雨戸新設			AD 3-6	電気室 両開き防音ドア取替 (カバー工法)					AD 3-8					
外観姿図																	
形式	外付け3枚引分け雨戸 (鏡板付き)					アルミ両開き戸カバー工法											
見込	メーカー仕様による					枠: 100、扉: 40											
仕上	サンドイッチパネル					フラッシュ (防音材充填)											
ガラス	—					—											
金物・備考	付属金物一式					付属金物一式											

外 壁（ 浮 き 部 ） 修 繕 工 事		
現 況	修 繕 イ メ ー ジ	工 事 仕 様
	1. ピンニング孔の穿孔	工事名称：アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
		一般部：16本／㎡
	2. アンカーピン固定用エポキシ樹脂注入	指定部（見立付面、庇の鼻、まぐさ隅角部）：25本／㎡
		狭幅部（笠木部）：5本／m 幅200mm以下
	3. ピンニング	工事内容：外壁モルタルの浮き部を、構造体コンクリートに全ネジ切りアンカーピンとエポキシ樹脂で
		固定し、かつ残存浮き部にエポキシ樹脂をほぼ全面に注入充填する。
※設計でこの工法を採用されていても浮きの状況等によっては、ポリマーセメントモルタル充填工法 又はモルタル塗替え工法を採用することもあるため、監督員と協議し改修工法を決定すること。		

外 壁（ ひ び 割 れ 部 ） 修 繕 工 事		
現 況	修 繕 イ メ ー ジ	工 事 仕 様
	1. 自動式低圧エポキシ樹脂注入	工事名称：自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
		工事内容：外壁のひび割れ部に、低・中粘度のエポキシ樹脂を注入器具により自動的に低圧で注入する。
		注入間隔は200～300mmとする。

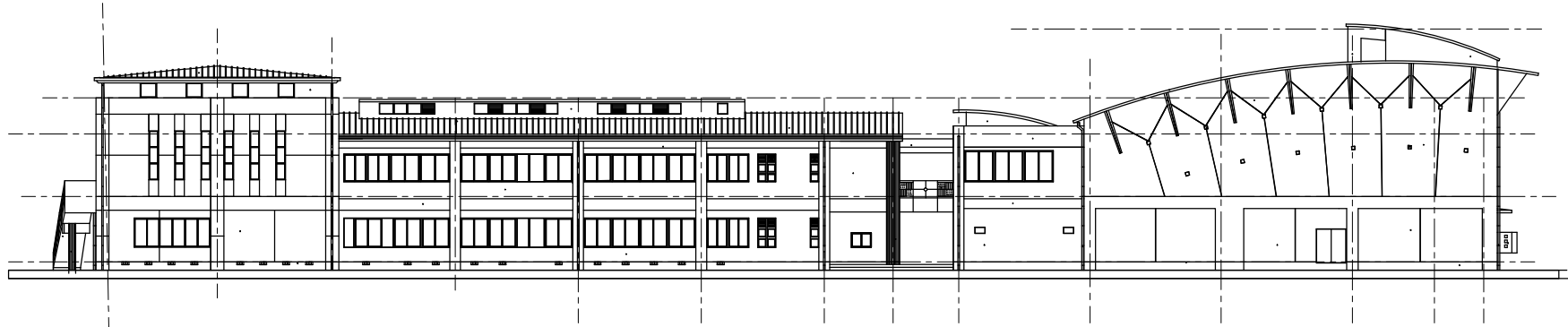
外 壁 及 び 揚 裏（ 爆 裂 ・ 欠 損 部 ） 修 繕 工 事			
現 況	修 繕 イ メ ー ジ	修 繕 イ メ ー ジ（ 階 段 サ サ ラ ）	工 事 仕 様
	1. コンクリート欠損部の撤去	1. 鉄筋錆び除去・防錆材塗布＋下地処理	工事名称：ポリマーセメントモルタル充填工法
			工事内容：爆裂によるコンクリートの浮き上がり部分の境界をダイヤモンドカッターで整形に区画、
	2. 鉄筋錆び除去＋下地処理	2. ステンレスアンカーピン打＋ステンレス線結束	内部のモルタル、コンクリート部分を撤去し、鉄筋の錆をスクレーパー等にて除去する。
			錆止め塗装を行う。
	3. ポリマーセメントモルタル充填	3. ポリマーセメント充填	撤去部分コンクリート面に適当な水湿をし、メンテペーストを塗り込む。
			欠け部にポリマーセメントモルタルを充填する。
但し、ポリマーセメントモルタルは1～3層に分け、各層の塗り厚さを7mm程度とする。			
※欠損部は錆落とし、錆止め塗装の工程を省く。			
※階段ササラ部はステンレスアンカーピンを打ち、ステンレス線で繋いで補強する。			
（ピン打ち間隔、ステンレス線径等仕様は、採用工法の規定による。）			

※使用材料・工法については、監督員の承諾を得ること。



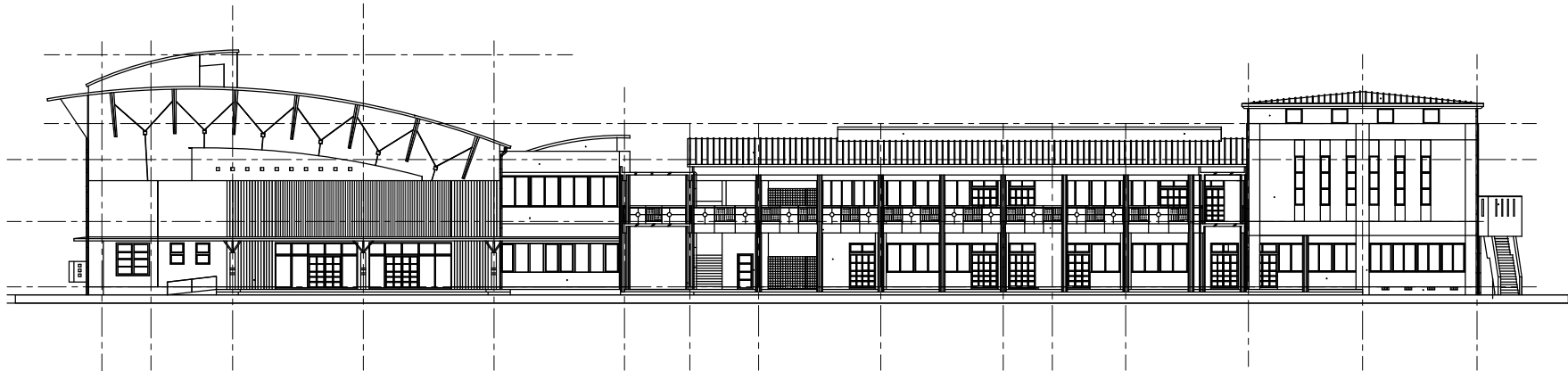
工 区			1 工 区	2 工 区	合 計	
項目・工法						
モルタル浮き	アンカー・ピンニング エポキシ樹脂注入工法	一般部 (A16) ピン本数				
		指定部 (A25) ピン本数				
		狭幅部 (A5) ピン本数				
爆裂・欠損	ポリマーセメント モルタル充填工法	一般部	面積	3.50 m ²	3.40 m ²	6.90 m ²
			カット長			
		見上げ面	面積	0.60 m ²	1.20 m ²	1.80 m ²
			カット長			
ひび割れ	自動振圧エポキシ 樹脂注入工法	一般部 (幅0.2～1.0mm)	179.00 m	174.00 m	353.00 m	
		見上げ面 (幅0.2～1.0mm)	31.00 m	60.00 m	91.00 m	

※調査報告書には各調査図に位置・種別・番号を記載し提出すること。



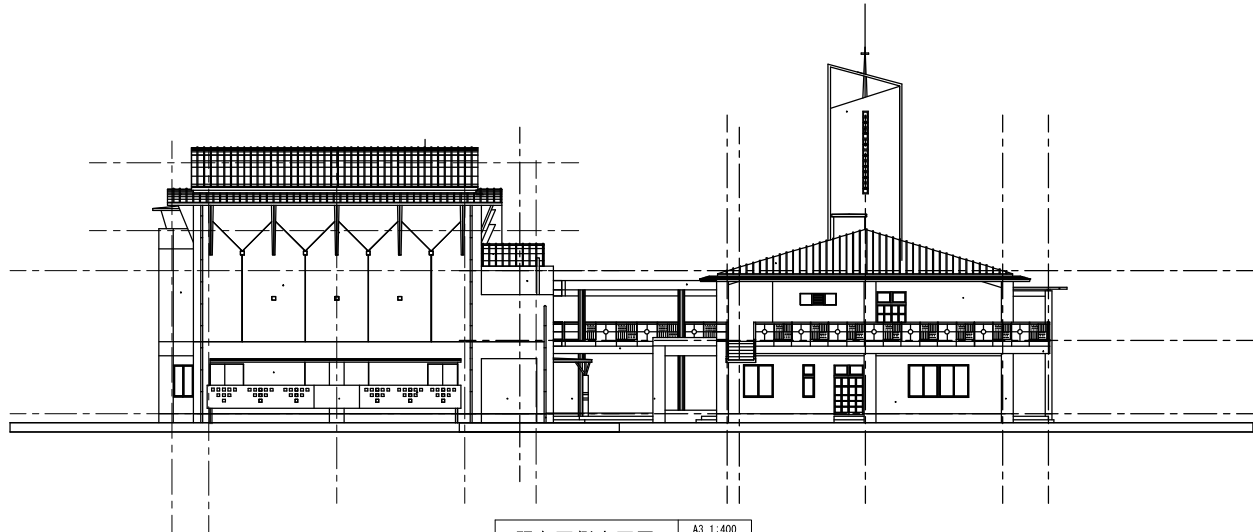
既存北側立面図

A3, 1:400
A1, 1:200



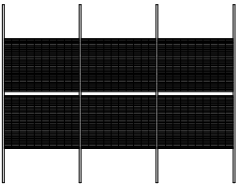
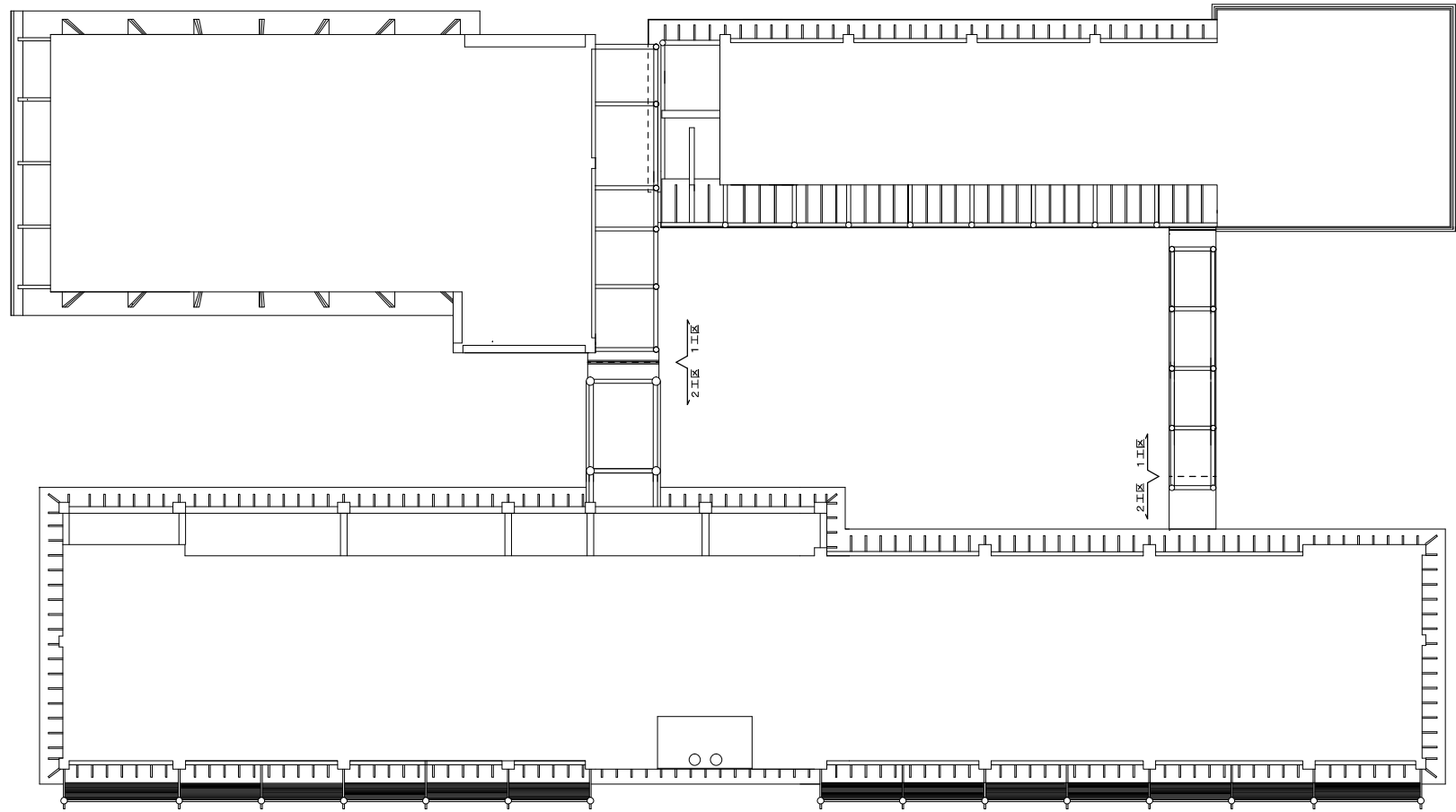
既存南側立面図

A3, 1:400
A1, 1:200



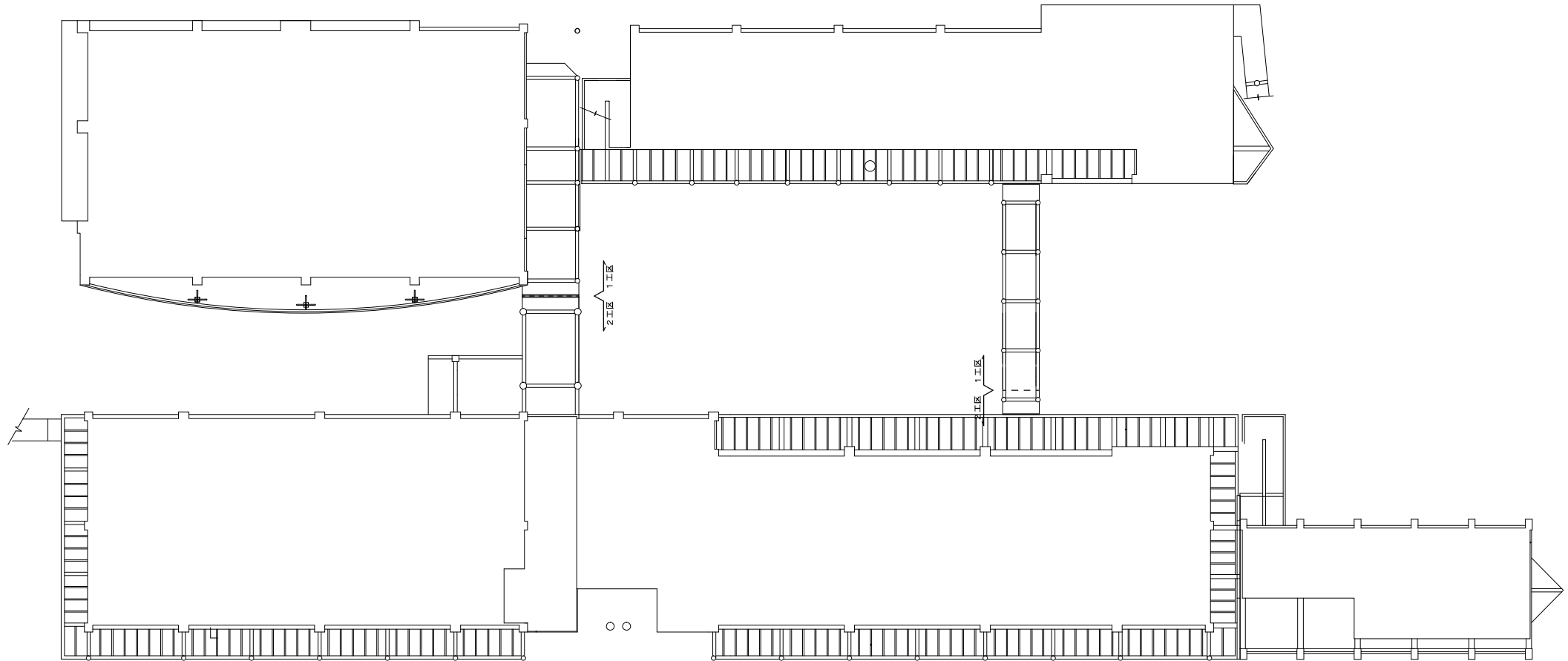
既存西側立面図

A3, 1:400
A1, 1:200



2階揚裏調査図

A3, 1:400
A1, 1:200



1階揚裏調査図

A3, 1:400
A1, 1:200